

鳥取県勢要覧

平成29年版



〈目 次〉

鳥取県行政区画図	1
利用上の注意	1
沿革・位置	2
土地・気象	3
人口	4
事業所	7
農林水産業	8
製造業	10
商業	12
観光	13
貿易	14
財政	15
労働・賃金	16
住宅	17
生活	18
県民経済計算	19
電気・ガス・水道	20
運輸	21
通信	22
教育	23
文化	24
男女共同参画	25
N P O	26
社会保障	27
健康・医療	28
環境	29
防災・安全	30
鳥取県の1日	32
全国における鳥取県	33
市町村勢一覧	34
国立・国定・県立自然公園 世界ソオパーク	40

(表紙の写真)

「CATCH the STAR 星取県」

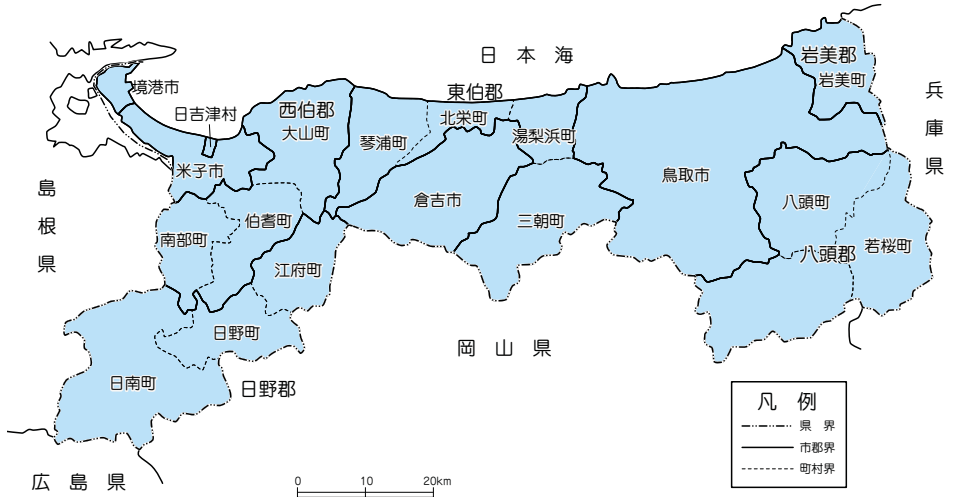
フォトコンテスト大賞作品

平成29年、鳥取県は星取県になりました。

県内各地で天の川が見え、流れ星も見やすく美しい星空をもつ鳥取県。写真は大山山頂から見た星空です。日本遺産に認定されている大山は、平成30年の大山開山1300年祭に向け、国内外から注目されています。

鳥取県行政区画図

(平成29年4月1日現在)
4市、14町、1村

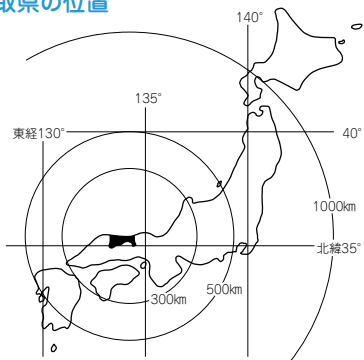


利用上の注意

- 1 鳥取県勢要覧は、鳥取県に関し、主として平成28年（度）または平成27年（度）の統計資料により編集しています。
- 2 統計表で「年」とあるのは暦年（1月～12月）、「年度」とあるのは会計年度（4月～翌年3月）を示し、年月日の期日は調査時点を示しています。
- 3 単位換算または四捨五入したために、表中の総数とその内訳とが一致しない場合があります。
- 4 本表に掲げた数値のうち、これまで発表した数値と異なるものがあるのは、その後修正または改定があったためです。
- 5 統計表中の符号の用法は、次のとおりです。
 - 「0」「0.0」 単位未満のもの
 - 「-」 該当数字なし
 - 「…」 不詳・資料なし
 - 「△」 減少・マイナス
 - 「χ」 数値が秘匿されているもの
- 6 統計表中の順位は原則として数値の大きい順につけています。数字が小さい順につけているものについては、「*」印を付けています。

沿革・位置

鳥取県の位置



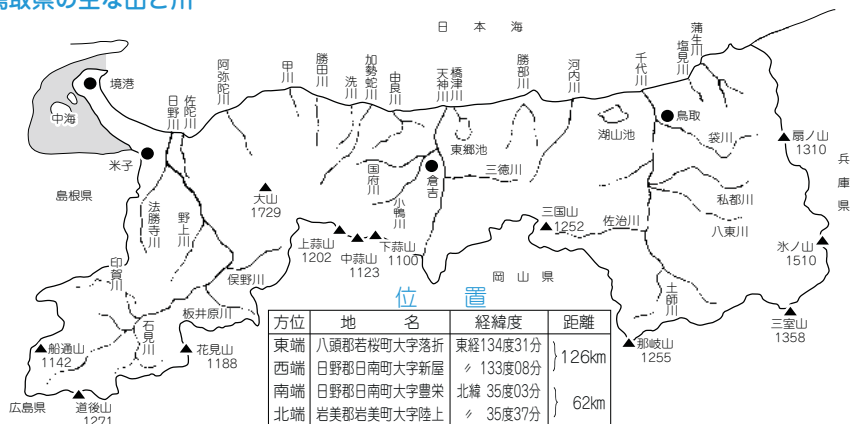
古代、鳥取平野には湖や沼が多く、水鳥などがたくさんいて、この鳥を取ることを仕事にしていた鳥取部（とりべ：部は職業集団の名称）が住んでいたことから、この辺りを鳥取と呼ぶようになったということです。

江戸時代には、因幡、伯耆の二国を合わせた鳥取藩を池田氏が治め、鳥取城を居城としていました。

明治になり、廃藩置県（明治4年）で鳥取藩から鳥取県になりましたが、明治9年、島根県に合併されました。

しかし、明治14年、再び鳥取県が分立・再置され、今日に至っています。

鳥取県の主な山と川



鳥取県の変遷

年月日	因幡国	伯耆国	隠岐国
	鳥取藩		
明治元年 (14郡)	邑美郡 岩井郡 八東郡 高草郡 智頭郡	河村郡 久米郡 八橋郡 汗入郡	会見郡 日野郡
明治4年7月14日 (廃藩置県)	鳥取県		
明治4年12月17日	鳥取県		
明治9年8月21日	合併により島根県		
明治14年9月12日	鳥取県 (再置)		
明治22年10月1日	鳥取市設置		
明治29年4月1日 (1市6郡)	鳥取市 岩美郡 八頭郡 気高郡 東伯郡 西伯郡 日野郡		
昭和2年4月1日	米子市設置		
昭和28年10月1日	倉吉市設置		
昭和31年4月1日	境港市設置		
平成16年11月1日 (4市5郡)	鳥取市 米子市 倉吉市 境港市 岩美郡 八頭郡 東伯郡 西伯郡 日野郡		島根県
現	在 ※気高郡消滅 (鳥取市との合併により)		

(土地)

平成28年10月1日現在の本県の総面積は3,507km²で、全国の0.9%を占めており、都道府県別では41番目となっています。これを土地利用状況別に見ると、森林が全体の73.7%を占めています。

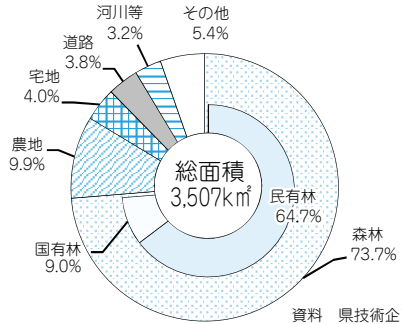
(気象)

平成28年は、1月は中旬から下旬にかけて冬型の気圧配置や寒気の影響を受ける日が多く、大雪となった日がありました。2月は雨や雪の降った日が多くありましたが、3月は平均気温が平年よりかなり高い日が続き春を迎えました。6月からは梅雨入り後、曇りや雨の日が多く、その後も8月後半から9月に雨量が多くありました。10月は台風により風が強まり、また、21日の鳥取県中部の地震で県内で最大震度6弱を観測しました。12月は低気圧や気圧配置の影響で雨や雪の降った日が多くありました。

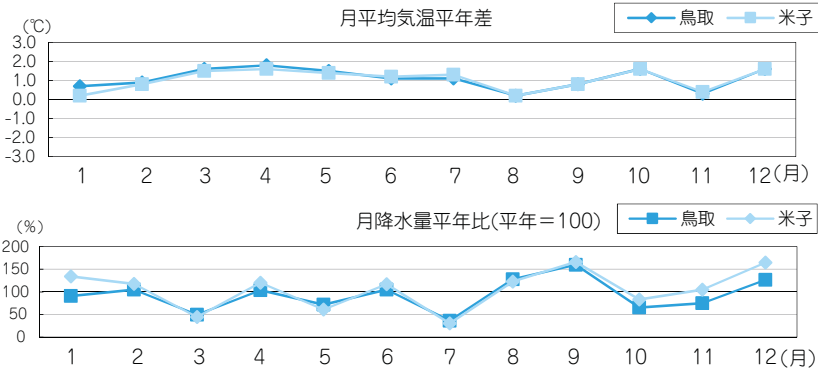
気象に関する主な指標

指標名	H28	平年
平均気温(鳥取市)	16.0℃	14.9℃
年間日照時間(鳥取市)	1,713.4時間	1,663.2時間
年間降水量(鳥取市)	1,795.0mm	1,914.0mm

土地利用現況(平成27年)



気象経過図



※平年とは、30年間(1981~2010年)の平均値を用い、西暦年の1位の数字が1になる10年ごとに更新される。

鳥取・米子の気象

区分・年次	気温(°C)			降水量(mm)		日照時間(時間)	最深積雪(cm)	現象日数			
	平均	最高(極)	最低(極)	合計	最大日量			雪	霧	雷	
鳥取地方気象台	平成26年	14.9	37.8	-2.6	1,890.0	93.0	1,706.7	30	58	2	34
	27	15.4	36.7	-2.4	1,750.0	60.0	1,696.2	31	56	4	25
	28	16.0	38.1	-5.4	1,795.0	63.5	1,713.4	16	34	1	18
米子特別地域気象観測所	平成26年	15.1	38.0	-2.6	1,668.0	72.5	1,755.0	25	63	4	...
	27	15.4	36.3	-2.5	1,580.5	55.5	1,748.5	24	72	3	...
	28	16.1	37.1	-5.8	1,843.0	91.5	1,732.8	18	52	10	...

※最深積雪と現象日数(雪)は、前年8月より当年7月までの集計。

資料 気象庁「過去の気象データ」

人口

人口に関する主な指標

指標名	鳥取県	全国	年次
人口密度(1k㎡当たり)	163.5人	340.8人	27
老年人口割合(65歳以上)	29.7%	26.6%	27
自然増加率(人口千人当たり)	△ 4.6%	△ 2.3%	27

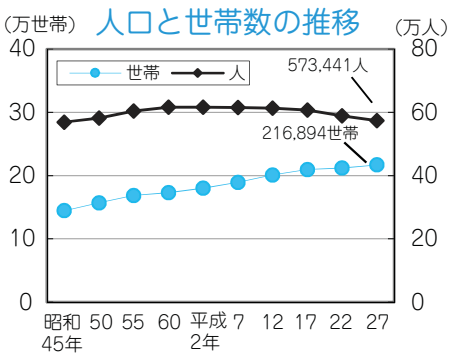
資料 総務省「平成27年国勢調査」

(人口)

平成27年国勢調査によると、本県の人口は573,441人、総世帯数は216,894世帯で、平成22年に比べ、人口は15,226人の減少、総世帯数は4,930世帯の増加となっており、平成27年の1世帯あたりの人員は2.57人で、平成22年に比べ、0.14人の減少となっています。

年齢3区分別人口割合の推移を見ると、年少人口(0～14歳)割合は低下する一方、老年人口(65歳以上)割合は上昇しています。

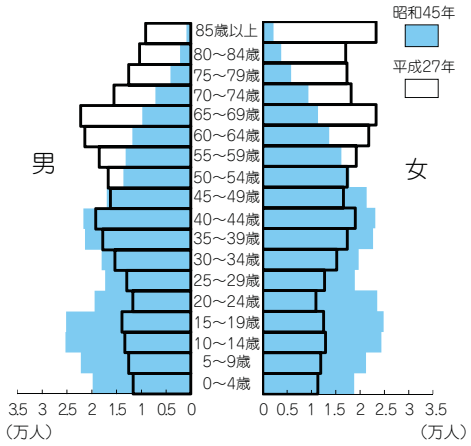
(なお、平成27年国勢調査を基準にした平成29年10月1日現在の推計人口は565,233人、総世帯数は218,731世帯です。)



年齢3区分別人口割合

年次	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
昭和45年	23.2	66.9	9.9
50	22.1	66.8	11.1
55	21.6	66.0	12.3
60	21.2	65.0	13.7
平成2年	19.2	64.5	16.2
7	17.1	63.6	19.3
12	15.3	62.6	22.0
17	14.0	61.9	24.1
22	13.4	60.3	26.3
27	12.9	57.3	29.7

鳥取県の人口ピラミッド



人口及び世帯数 (各年10月1日)

年次	世帯数 (総世帯)	人口			前回に対する人口増減		1世帯あたり人員 (一般世帯)	人口密度 (1k㎡当たり)
		総数	男	女	人	%		
平成7年	189,405	614,929	294,414	320,515	△ 793	△ 0.1	3.20	175.3
12	201,067	613,289	293,403	319,886	△ 1,640	△ 0.3	3.00	174.9
17	209,541	607,012	290,190	316,822	△ 6,277	△ 1.0	2.83	173.1
22	211,964	588,667	280,701	307,966	△ 18,345	△ 3.0	2.71	167.8
27	216,894	573,441	273,705	299,736	△ 15,226	△ 2.6	2.57	163.5

資料 総務省「国勢調査」

(世帯)

平成27年国勢調査によると、世帯人員別一般世帯数の割合では、1人世帯及び2人世帯の割合の合計が全体の半数以上となっています。

また、家族類型別一般世帯では、単独世帯の割合が上昇傾向で推移する一方、三世代同居世帯の割合は低下しています。

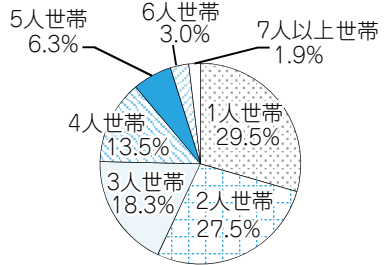
(未婚率)

昭和45年から平成27年までの年齢階級別未婚率の推移を見ると、男性・女性とも各年齢階級において上昇しています。昭和45年に比べ、女性の25～29歳では42.6ポイントの上昇、男性の30～34歳では39.9ポイントの上昇となっています。

世帯に関する指標

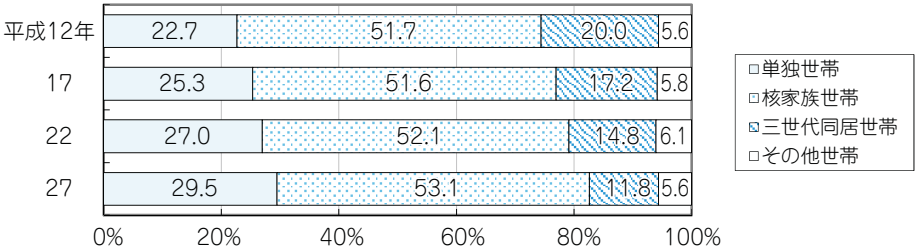
指標名	鳥取県	全国	年次
1人世帯当たり人員 (一般世帯)	2.57人	2.33人	27
核家族世帯割合 (一般世帯に占める割合)	53.1%	55.8%	27

世帯人員別一般世帯数の割合

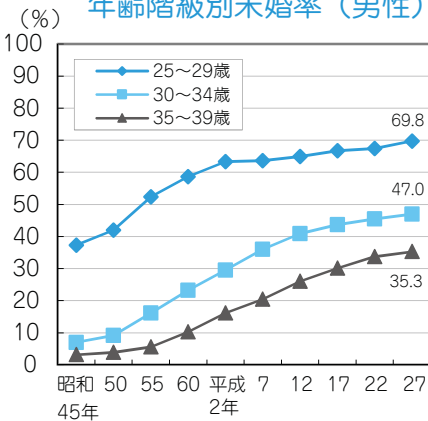


資料 総務省「平成27年国勢調査」

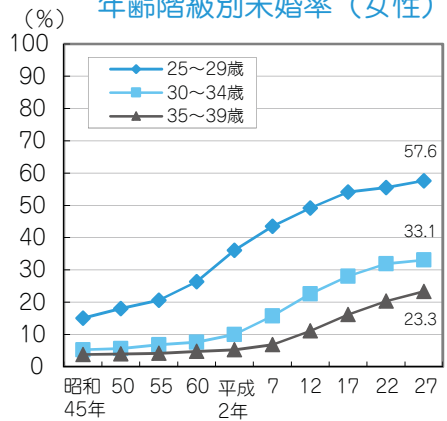
家族類型別一般世帯数割合の推移



年齢階級別未婚率 (男性)



年齢階級別未婚率 (女性)



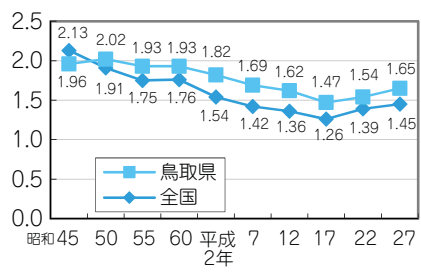
資料 総務省「国勢調査」

出生・死亡率の指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
出生率(人口千人当たり)	7.8	18	7.8	28
*死亡率(人口千人当たり)	13.0	37	10.5	28
合計特殊出生率	1.60	11	1.44	28

資料 厚生労働省「平成28年人口動態調査」

合計特殊出生率の推移



資料 厚生労働省「人口動態調査」

※「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計した値である。

合計特殊出生率

$$= \left(\frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \left[\begin{array}{c} 15歳から \\ 49歳までの合計 \end{array} \right] \right)$$

これは、年齢構造の影響を除いた出生率の水準を示す指標であり、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

(人口動態)

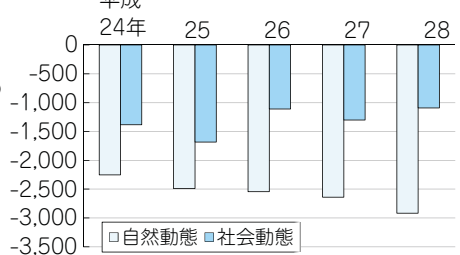
鳥取県人口移動調査によると、平成28年の出生数は4,459人、死亡数は7,375人で、その結果、自然動態は2,916人の減少となりました。

また、県外からの転入者数は10,221人、県外への転出者数は11,312人で、その結果、社会動態は1,091人の減少となりました。

この結果、平成28年の人口動態は、4,007人の減少となり、前年(3,938人の減少)と比べ、減少幅が拡大しました。

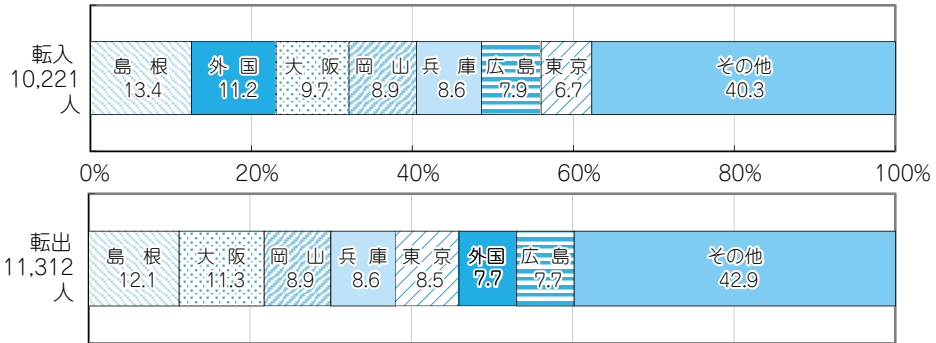
また、人口動態調査による合計特殊出生率をみると、鳥取県は昭和50年以降、全国平均を上回っています。

人口動態の推移



(人) 資料 県統計課「鳥取県人口移動調査」

県外移動者の前住地・転出先割合
(平成28年1月1日～12月31日)



資料 県統計課「平成28年鳥取県人口移動調査」

(事業所)

平成28年の民営事業所数は25,809事業所、従業者数は231,711人（速報値）となっています。

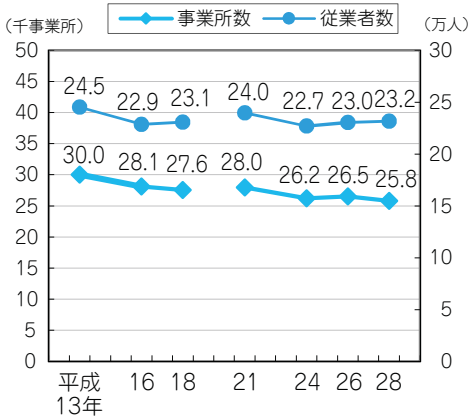
従業者規模別で見ると、1～4人が約6割を占めています。

また、産業別割合を見ると、事業所数は「卸売業、小売業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」の順となっており、従業者数は「卸売業、小売業」「医療、福祉」「製造業」の順となっています。

事業所に関する主な指標

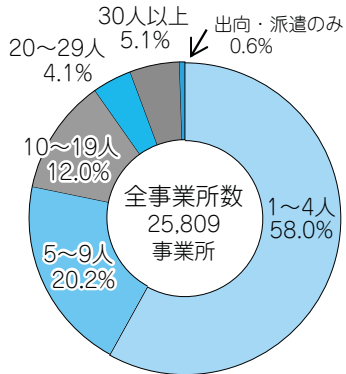
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
事業所数 (人口千人当たり)	45.3	26	42.2	28
第2次産業事業所割合	14.87%	43	17.75%	28
第3次産業事業所割合	83.81%	4	81.64%	28

事業所数と従業者数の推移



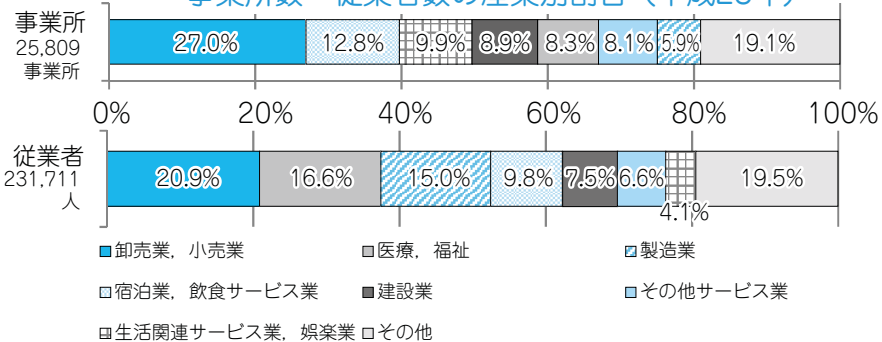
※平成18年までは事業所・企業統計調査、平成21年以降は経済センサス。平成28年は速報値。

従業者規模別の事業所数割合 (平成28年)



資料 総務省・経済産業省
「平成28年経済センサス-活動調査(速報)」

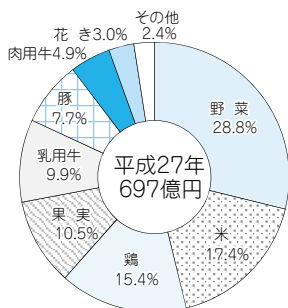
事業所数・従業者数の産業別割合 (平成28年)



資料 総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査(速報)」

農林水産業

農業産出額の割合



資料 農林水産省「平成27年生産農業所得統計」

(農業)

平成27年の農業産出額の割合をみると、「野菜」の占める割合が最も高く、次いで「米」「鶏」「果実」の順となっています。

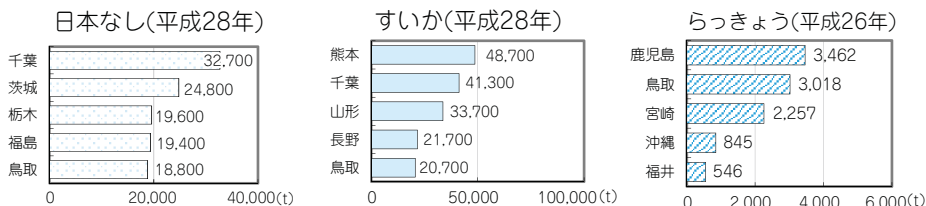
また、本県の特産物である「日本なし」は18,800t(平成28年)で全国5位、「すいか」は20,700t(平成28年)で全国5位、「らっきょう」は3,018t(平成26年)で全国2位の収穫量となっています。

農業に関する指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
農業産出額 (農業就業人口1人当たり)	2,499 千円	39	4,020 千円	26
農家世帯割合	11.86%	3	3.82%	27

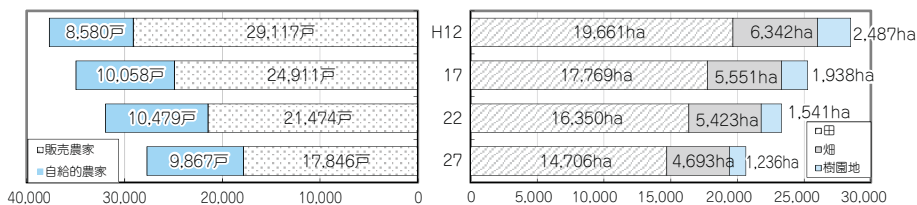
資料 農林水産省「2015農林業センサス」 総務省「平成27年国勢調査」

日本なし・すいか・らっきょうの収穫量



資料 農林水産省「作物統計調査」、「地域特産野菜生産状況調査」

農家数及び経営耕地面積（販売農家）の推移



資料 農林水産省「農林業センサス」

農家人口・農業就業人口・耕地面積（販売農家）

単位：人・ha

年次	農家人口			農業就業人口			耕地面積		
	総数	男	女	総数	男	女	田	畑	樹園地
平成12年	132,779	64,489	68,290	46,572	19,627	26,945	19,661	6,342	2,487
17	109,124	53,153	55,971	41,071	18,207	22,864	17,769	5,551	1,938
22	88,181	43,125	45,056	33,433	15,864	17,569	16,350	5,423	1,541
27	68,377	33,636	34,741	26,126	13,233	12,893	14,706	4,963	1,236

資料 農林水産省「農林業センサス」

(林業)

平成7年から27年までの素材生産量の推移を見ると、平成17年には125千㎡にまで減少しましたが、その後増加傾向に転じており、平成27年は273千㎡となっています。

(水産業)

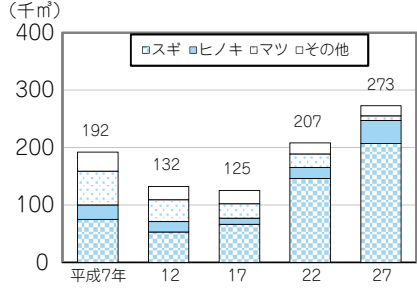
平成28年の海面漁業漁獲量（速報値）は7万0,000 t で前年に比べ減少しています。

魚種別に見ると、前年に比べ「いわし類」が大幅に増加した一方、「さば類」が減少しています。

林業・水産業に関する指標

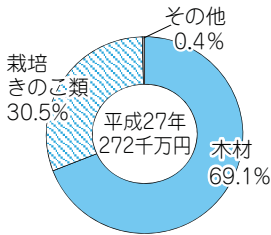
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
林業産出額	272千万円	32	43,281千万円	27
海面漁業生産額	192億円	17	10,008億円	27

樹種別素材生産量の推移



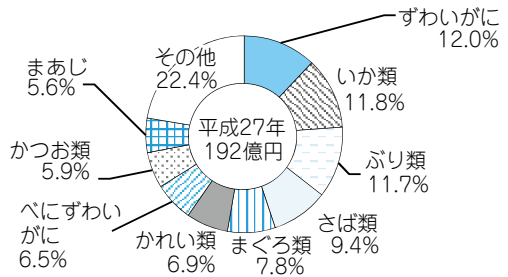
資料 県林政企画課「鳥取県林業統計」

林業産出額の割合



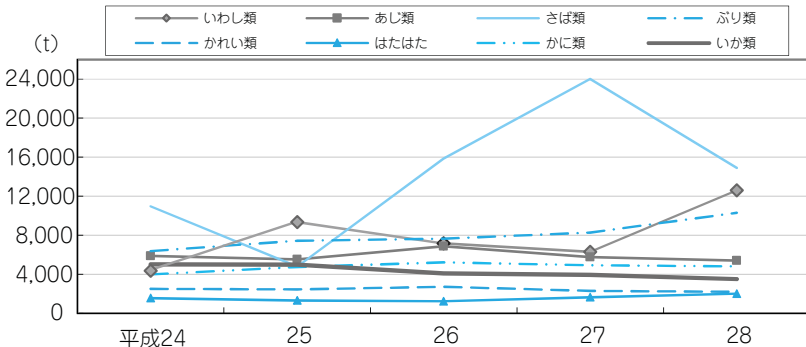
資料 農林水産省「平成27年生産林業所得統計」

海面漁業産出額の割合



資料 農林水産省「平成27年漁業産出額」

主要魚種別漁獲量の推移

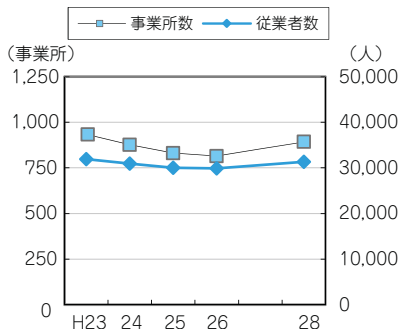


※平成28年は速報値。

資料 農林水産省「海面漁業生産統計調査」

製造業

事業所数・従業者数の推移

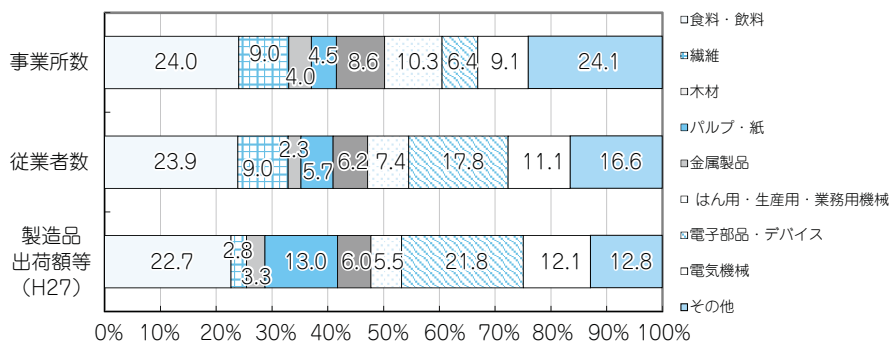


(製造業)

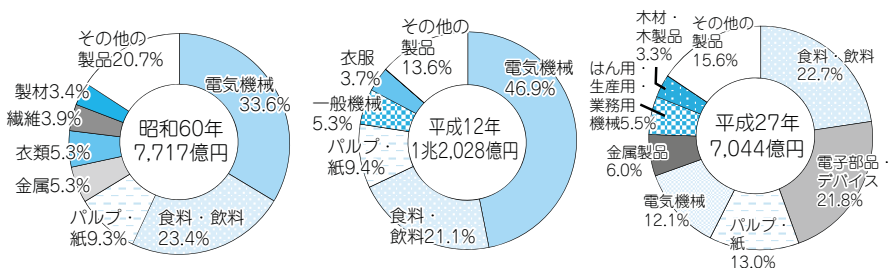
平成28年の製造業の事業所数は891事業所、従業者数は31,319人となっています。

製造品出荷額等の構成比の変化を見ると、昭和60年と平成12年は「電気機械」、平成27年は「食料・飲料」が一番大きな割合を占めています。

産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比（平成28年）



産業別製造品出荷額等の構成比の変化 （従業者4人以上の事業所）



※昭和60年及び平成12年の「電気機械」は、平成27年の「電子部品・デバイス」及び「情報通信機械」も含まれる。

※平成12年の「一般機械」は、平成27年の「はん用・生産用・業務用機械」に対応。

資料 経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

(鉱工業指数)

平成28年の鉱工業指数（平成22年＝100）は、生産指数が110.9、出荷指数が94.2、在庫指数（年末）は213.5となりました。

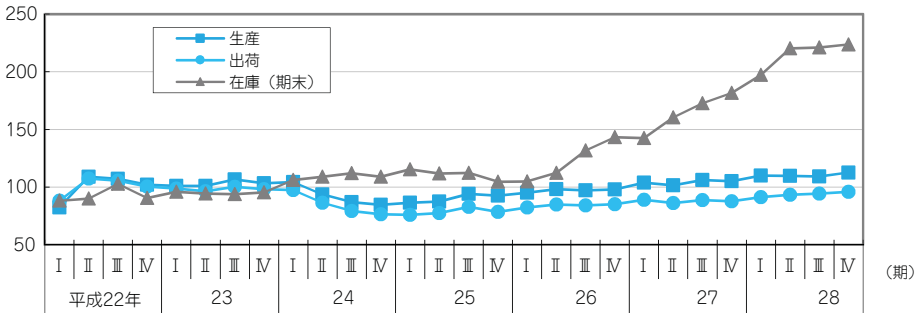
このうち、生産指数についてみると、前年に比べ、「電子部品・デバイス工業」などで上昇、「鉄鋼業」などで低下となっています。

製造業に関する指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
製造品出荷額等	7,044億円	45	313兆1,286億円	27
付加価値額 (従業員1人当たり)	7,794千円	44	13,074千円	27

資料 総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」

鉱工業指数の推移



※生産及び出荷は四半期平均、在庫は四半期末の数値（季節調整済）。

資料 県統計課「鳥取県鉱工業指数」

業種別鉱工業生産・出荷・在庫指数

業種	生産			出荷			在庫		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
鉱工業	96.9	103.8	110.9	84.0	87.7	94.2	138.0	175.8	213.5
鉄鋼業	115.9	115.7	112.0	117.0	116.5	113.9	110.1	140.5	136.8
金属製品工業	219.7	248.7	222.4	102.8	107.1	103.3	108.7	67.6	56.4
一般機械工業	74.9	79.1	76.4	92.5	101.7	100.4	95.8	165.4	175.7
電気機械工業	49.1	44.2	44.4	39.5	36.2	37.5	22.9	24.1	19.5
電子部品・デバイス工業	97.7	113.9	131.5	89.0	102.4	117.8	1,230.0	2,376.6	3,383.5
窯業・土石製品工業	95.9	87.9	91.0	99.2	93.7	97.8	134.1	134.6	106.1
プラスチック製品工業	24.5	24.6	21.3	37.4	38.7	36.5	62.2	76.1	68.3
パルプ・紙・紙加工品工業	98.2	93.7	95.8	96.6	94.2	94.2	79.3	72.2	90.2
繊維工業	87.6	83.0	83.9	91.5	86.8	86.1	153.0	156.0	135.9
食料品・たばこ工業	113.2	118.5	120.1	113.5	116.3	119.4	143.9	129.1	139.3
その他工業	130.1	130.2	151.2	123.9	122.5	142.8	61.6	64.8	58.4
非鉄金属工業	×	×	×	×	×	×	×	×	×
輸送機械工業	133.7	136.4	165.4	129.6	129.2	156.1	0.0	0.0	0.0
ゴム製品工業	109.3	91.5	98.4	110.0	91.5	97.7	×	×	×
皮革製品工業	×	×	×	×	×	×	—	—	—
木材・木製品工業	134.0	139.6	143.6	152.9	155.5	157.9	127.2	132.9	117.3

※生産及び出荷は年平均、在庫は年末の数値。

資料 県統計課「鳥取県鉱工業指数」

商業に関する指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
卸売業事業所数 (人口千人当たり)	2.90 事業所	21	3.01 事業所	26
小売業事業所数 (人口千人当たり)	9.59 事業所	18	8.06 事業所	26
小売業の年間商品販売額 (従業員1人当たり)	15,612 千円	24	15,896 千円	26

資料 経済産業省「平成26年商業統計調査」

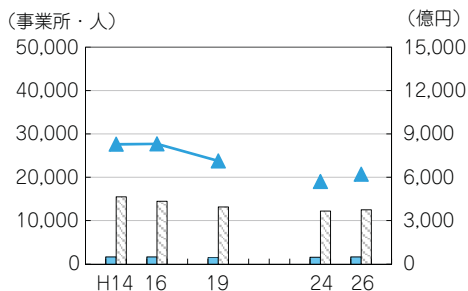
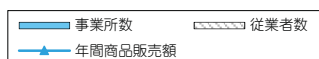
(商業)

平成26年商業統計調査によると、卸売業は事業所数1,667事業所、従業員数は12,471人となっています。また、平成26年の業種別商品販売額を見ると、「農畜産物・水産物」の占める割合が最も高くなっています。

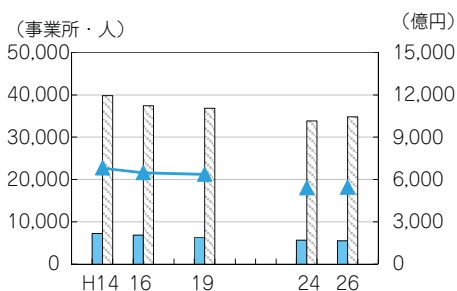
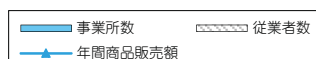
一方、小売業の事業所数は、5,504事業所、従業員数は34,831人となっています。また、業種別商品販売額を見ると、「自動車」の占める割合が最も高くなっています。

商業における事業所数・従業員数・年間商品販売額の推移

卸売業



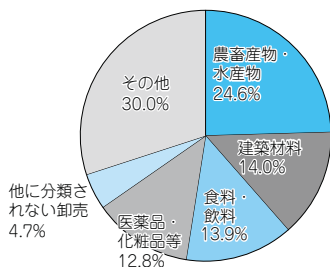
小売業



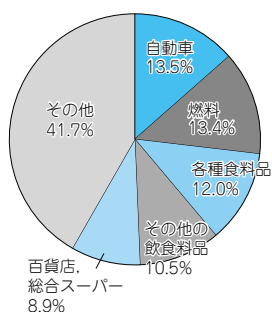
資料 経済産業省「商業統計」、平成24年のみ総務省「経済センサス」

業種別年間商品販売額構成比 (平成26年)

卸売業



小売業



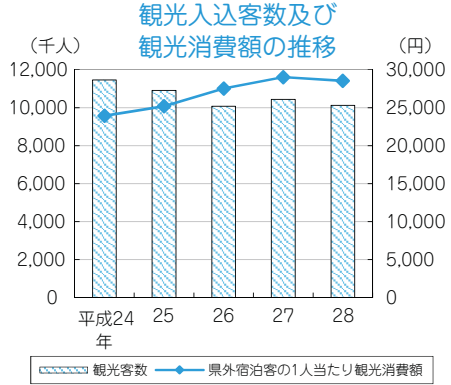
資料 経済産業省「平成26年商業統計調査」

（観 光）

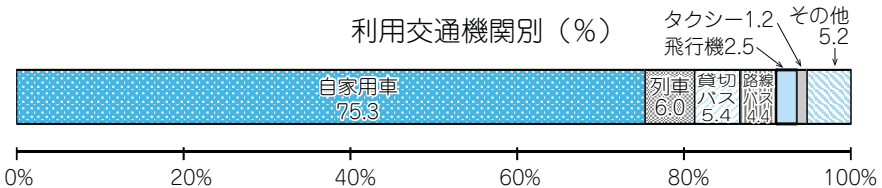
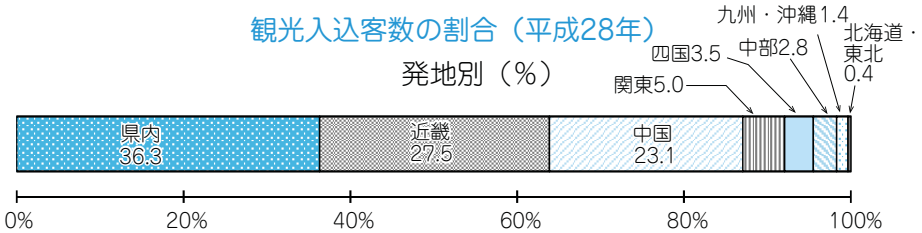
観光客入込動態調査によると、平成28年の観光入込客数は10,127千人でした。

これを発地別に見ると、県内観光客の占める割合が36.3%と最も高くなっています。

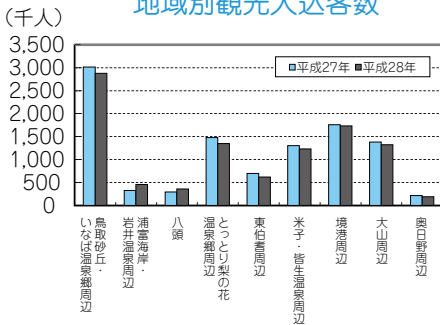
地域別入込客数では、「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」が2,877千人で最も多く、次いで「境港周辺」が1,732千人となっています。



観光入込客数の割合（平成28年）



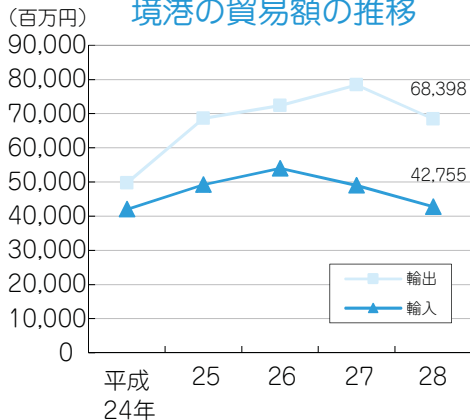
地域別観光入込客数



広域エリア名	観光入込客数 (千人)	
	平成27年	平成28年
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	3,010	2,877
浦富海岸・岩井温泉周辺	325	458
八頭	291	360
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,473	1,349
東伯耆周辺	698	616
米子・皆生温泉周辺	1,298	1,230
境港周辺	1,755	1,732
大山周辺	1,378	1,317
奥日野周辺	212	188

資料 すべて 県観光戦略課「観光客入込動態調査」

境港の貿易額の推移



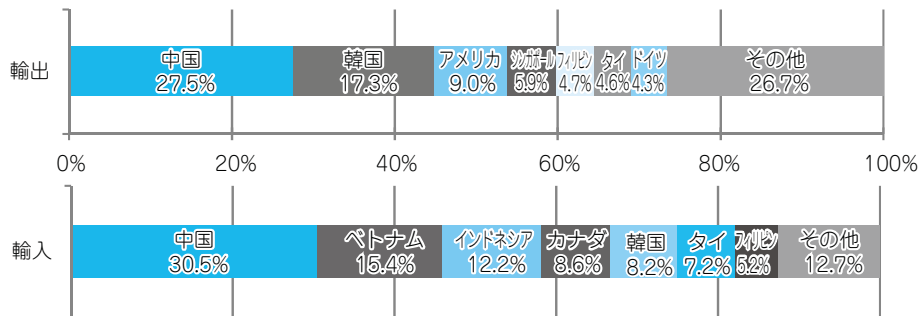
(貿易)

平成28年の境港（米子鬼太郎空港を含む）の貿易額を見ると、輸出・輸入ともに前年に比べ減少しています。

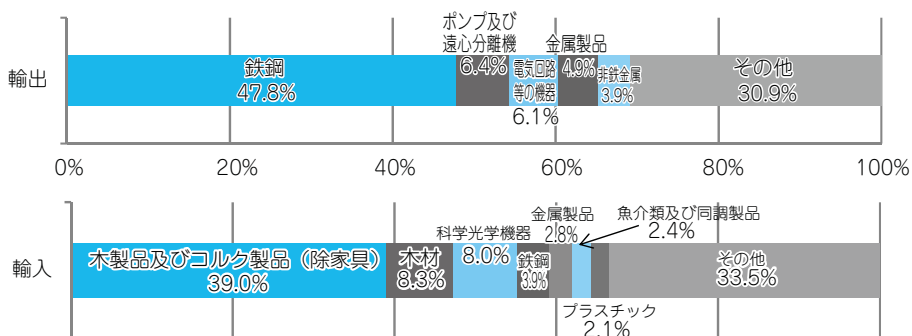
また、国別貿易額の割合を見ると、輸出、輸入とも中国の占める割合が最も高くなっています。

さらに、品目別貿易額の割合の上位を見ると、輸出では「鉄鋼」「ポンプ及び遠心分離機」「電気回路等の機器」の順となっており、輸入では「木製品及びコルク製品（除家具）」「木材」「科学光学機器」の順となっています。

境港の国別貿易額の割合（平成28年）



境港の品目別貿易額の割合（平成28年）



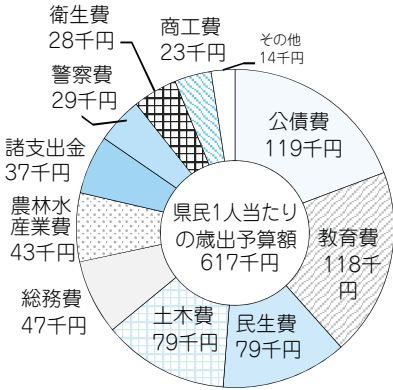
資料 すべて 神戸税関「貿易統計」

（県一般会計）

平成29年度の鳥取県の一般会計当初予算額は3,494億円となっており、県民1人当たり617千円となっています。これを目的別に見ると、「公債費」「教育費」「民生費」などの順となっています。

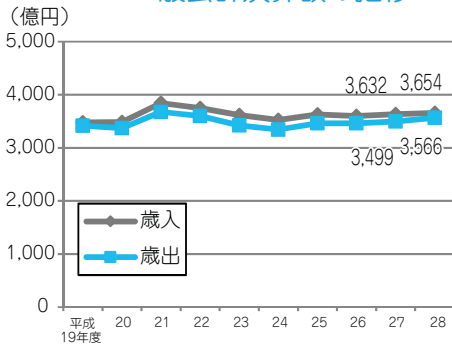
また、一般会計決算額の推移を見ると、平成24年度まで減少傾向でしたが、平成25年度からほぼ横ばいで推移しています。

県民1人当たりの歳出予算額
（平成29年度当初予算）



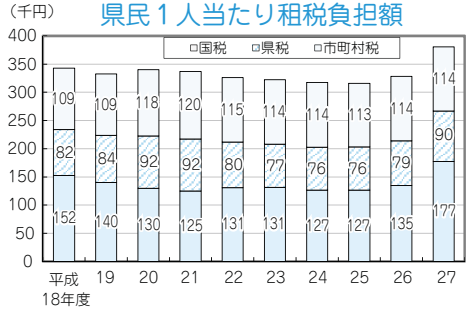
※平成29年度一般会計当初歳出予算額を平成29年4月1日現在の県推計人口（565,936人）で除したものの。

一般会計決算額の推移



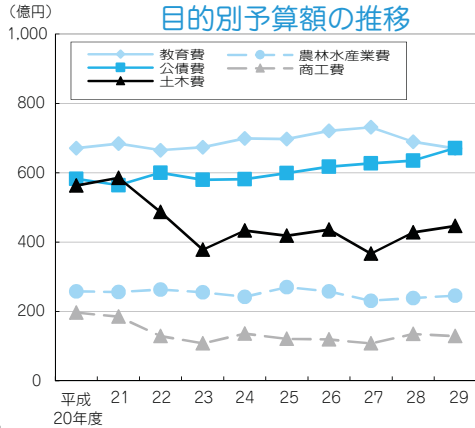
資料 県財政課「一般会計決算」

県民1人当たり租税負担額



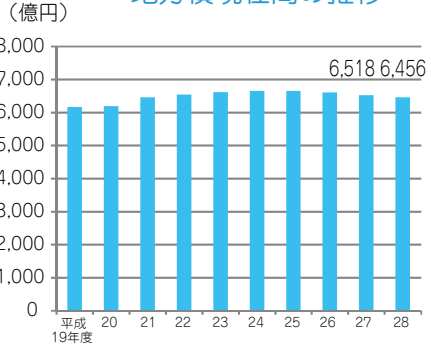
資料 国税庁「統計情報」、県税務課「税務統計書」

目的別予算額の推移



資料 県財政課「当初予算案の概要」

地方債現在高の推移

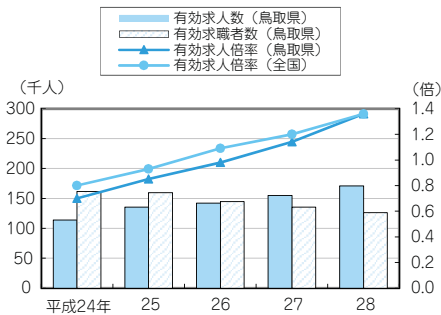


※一般会計ベース資料 県財政課「一般会計決算」

労働に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
有効求人倍率	1.36	19	1.36	28
パートタイム有効求人倍率	1.60	16	1.57	27

求人・求職指標の推移



※パートタイムを含む 資料 鳥取労働局「労働市場月報」

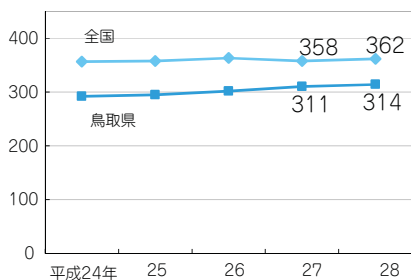
(労働)

平成28年平均の有効求人倍率は本県、全国とも前年より上昇しています。また、パートタイム労働者比率は、平成24年以降はほぼ横ばいで推移していましたが、平成27年から大きく低下しています。

(賃金)

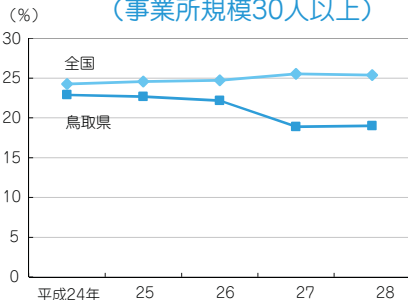
平成24年から平成28年までの常用労働者1人平均月間現金給与総額を比べると、近年増加傾向にあります。産業別に見ると、平成28年は前年と比べて、「卸売業、小売業」「複合サービス事業」「飲食サービス業等」などが上昇し、「金融業、保険業」などが低下しています。

常用労働者1人平均月間現金給与総額 (事業所規模30人以上)



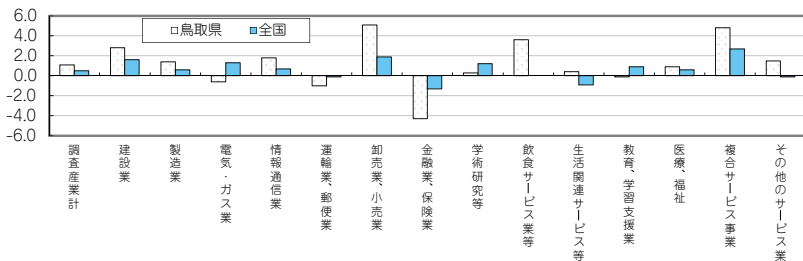
資料 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

パートタイム労働者比率の推移 (事業所規模30人以上)



資料 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

産業別現金給与総額の前年比 (事業所規模30人以上) (平成28年)



資料 厚生労働省「平成28年毎月勤労統計調査」

(住 宅)

住宅・土地統計調査によると、昭和58年から平成25年までの専用住宅1戸当たり延べ面積は、平成5年以降はほぼ横ばいとなっています。

また、空き家率の推移を見ると、これまで増加傾向だったものが、平成25年では減少しています。

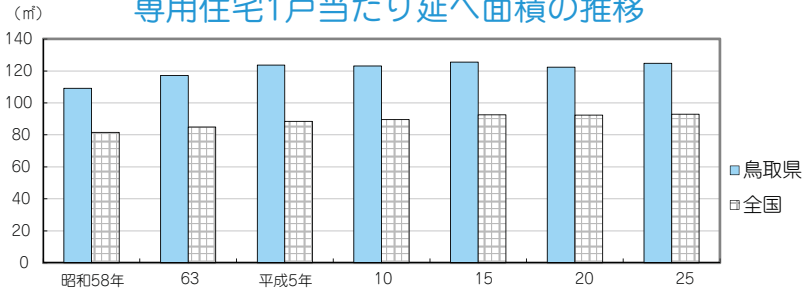
住宅着工統計調査による新設住宅着工戸数の状況を見ると、平成25年から4年連続で増加しています。

住宅に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
持ち家比率	69.4%	22	62.3%	27
住宅地平均価格(1㎡当たり)	19,600円	43	-	29

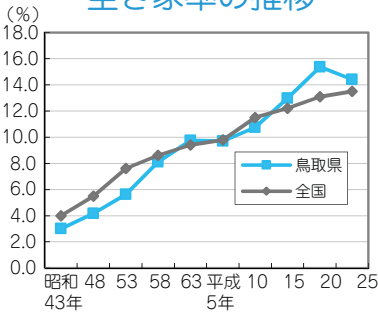
資料 総務省「平成27年国勢調査」
国土交通省「平成29年都道府県地価調査」

専用住宅1戸当たり延べ面積の推移



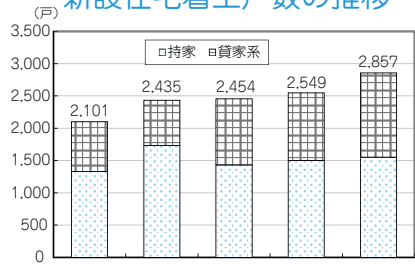
資料 総務省「住宅・土地統計調査」

空き家率の推移



資料 総務省「住宅・土地統計調査」

新設住宅着工戸数の推移



資料 国土交通省「住宅着工統計調査」

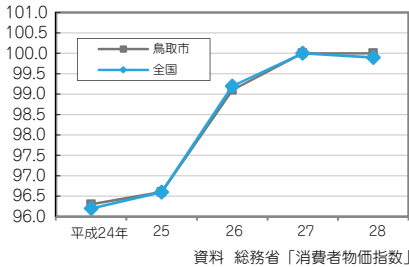
利用別新設住宅着工戸数

単位：戸・㎡

年次	総数		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積
平成24年	2,101	211,954	1,178	152,900	765	43,562	6	814	152	14,678
25	2,435	262,951	1,630	214,256	675	36,825	26	1,330	104	10,550
26	2,454	232,327	1,244	160,155	1,016	54,145	6	531	188	17,496
27	2,549	235,434	1,289	158,852	1,039	53,738	8	1,842	213	21,002
28	2,857	254,735	1,355	167,089	1,291	66,423	15	2,218	196	19,005

資料 国土交通省「住宅着工統計調査」

消費者物価指数（総合）



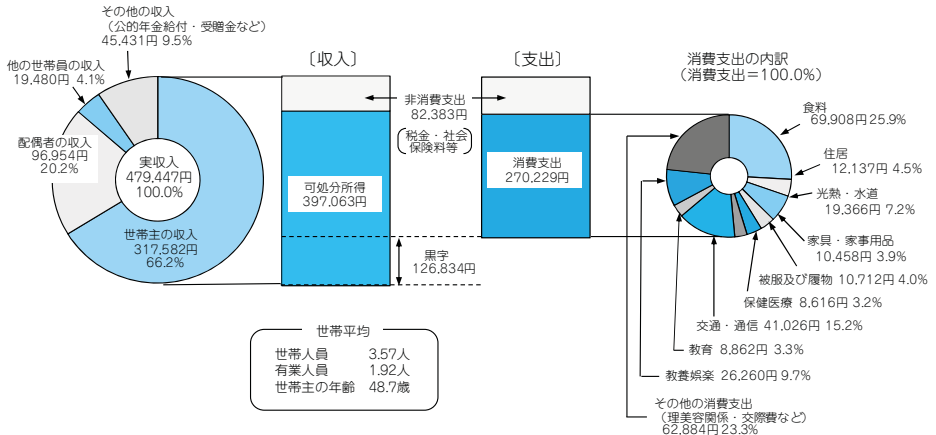
（消費者物価指数）

平成28年平均消費者物価指数（平成27年=100）を見ると、鳥取市の総合指数は100.0で、前年と変わりませんでした。

平成28年の家計調査による、鳥取市の勤労者1世帯当たり月平均可処分所得は397,063円となっています。

一方、消費支出を見ると、270,229円となっており、その内訳の上位は「食料」「交通・通信」「教養・娯楽」の順となっています。

平成28年平均1世帯当たり1か月間の収支（鳥取市）



主要家計指標（鳥取市・1か月当たり）

単位：人・円・%

年次	調査世帯平均人員	可処分所得 (A)	消費支出 (B)	平均消費性向 $\frac{(B)}{(A)} \times 100$	黒字	貯蓄純増
平成24年	3.46	384,891	310,570	80.7	74,321	41,483
25	3.53	401,143	292,734	73.0	108,409	78,088
26	3.81	368,150	283,195	76.9	84,955	68,677
27	3.47	410,665	287,763	70.1	122,902	87,785
28	3.57	397,063	270,229	68.1	126,834	111,631

※可処分所得＝実収入－税・社会保険などの非消費支出

貯蓄純増＝預貯金純増＋（保険金－保険掛金）

※二人以上の世帯のうち勤労者世帯

資料 総務省「家計調査」

(県民経済計算)

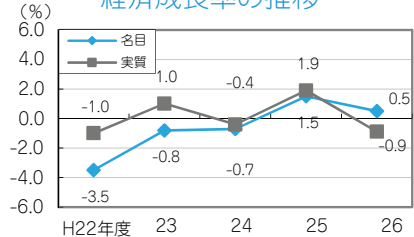
平成26年度の県内総生産は、名目で1兆7,792億円(成長率0.5%)、実質で1兆9,641億円(成長率△0.9%)となっています。

また、県民所得は1兆3,375億円で、県民1人当たり2,330千円となります。これは国(国民経済計算)を100としたとき81.3となり、国との格差は、前年度と比べ小幅ながら拡大しています。

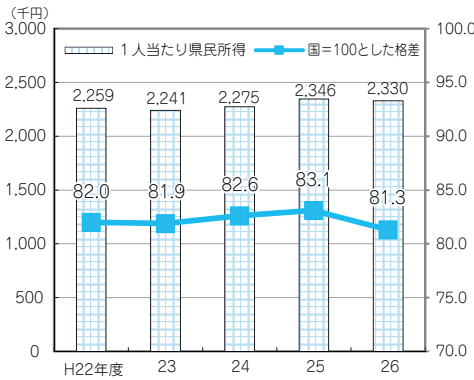
県民経済計算の指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
県(国)民所得 (人口1人当たり)	2,330千円	46	2,868千円	26

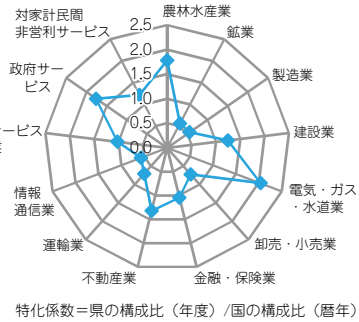
経済成長率の推移



1人当たり県民所得・国との格差の推移



経済活動別県内総生産(名目)の特化係数(平成26年度)



県内総生産(生産側)名目

単位:百万円、%

項目	実額			増加率	構成比		
	24年度	25年度	26年度	26/25	24年度	25年度	26年度
1 産 業	1,405,574	1,429,868	1,428,322	△ 0.1	80.5	80.7	80.3
(1) 農林水産業	42,440	38,607	36,708	△ 4.9	2.4	2.2	2.1
(2) 鉱 業	671	807	765	△ 5.1	0.0	0.0	0.0
(3) 製 造 業	189,858	187,527	181,982	△ 3.0	10.9	10.6	10.2
(4) 建 設 業	111,842	138,413	133,919	△ 3.2	6.4	7.8	7.5
(5) 電気・ガス・水道業	61,278	62,555	71,184	13.8	3.5	3.5	4.0
(6) 卸売・小売業	184,895	183,873	180,264	△ 2.0	10.6	10.4	10.1
(7) 金融・保険業	82,269	81,398	80,013	△ 1.7	4.7	4.6	4.5
(8) 不 動 産 業	267,068	269,824	271,030	0.4	15.3	15.2	15.2
(9) 運輸業	59,206	55,861	62,668	12.2	3.4	3.2	3.5
(10) 情報通信業	54,759	55,096	55,133	0.1	3.1	3.1	3.1
(11) サービス業	351,288	355,908	354,658	△ 0.4	20.1	20.1	19.9
2 政府サービス生産者	279,085	278,057	281,730	1.3	16.0	15.7	15.8
3 対家計民間非営利サービス生産者	47,002	47,304	48,914	3.4	2.7	2.7	2.7
4 小 計 (1+2+3)	1,731,661	1,755,229	1,758,966	0.2	99.2	99.1	98.9
5 輸入品に課される税・関税	20,888	23,547	31,641	34.4	1.2	1.3	1.8
6 (控除)総資本形成に係る消費税	7,292	7,623	11,429	49.9	0.4	0.4	0.6
7 県内総生産(生産側)(4+5-6)	1,745,257	1,771,152	1,779,178	0.5	100.0	100.0	100.0

資料 すべて 県統計課「県民経済計算」

電気・水道に関する主な指標

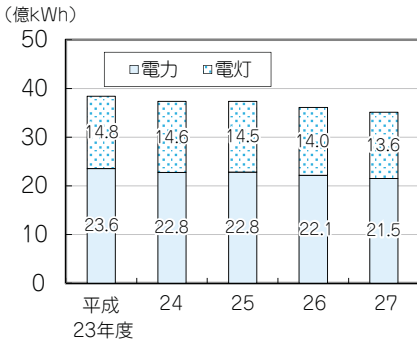
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
上水道実績年間給水量 (上水道供給人口当たり)	127.0m ³	19	120.8m ³	27
光熱・水道費割合 (二人以上の世帯)	7.9%	16	7.5%	28

資料 公益社団法人 日本水道協会「平成27年水道統計」
総務省「平成28年家計調査」

(ガス)

平成23年度から27年度までのガス販売量を見ると、家庭用が減少、工業用が増加傾向にあります。

使用電力量の推移



資料 中国電力株式会社

(電気)

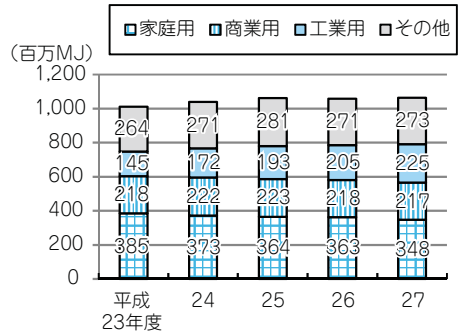
使用電力量の推移を見ると、緩やかな減少傾向にあります。

太陽光発電の導入状況は、平成25年度から26年度にかけて、件数、設置容量ともに増加していましたが、設置容量は、27年度に減少しました。

(水道)

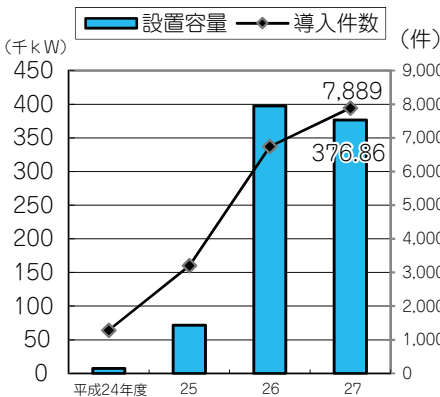
平成23年度から27年度までの水道普及状況を見ると、ほぼ横ばい状態となっています。

ガス販売量の推移



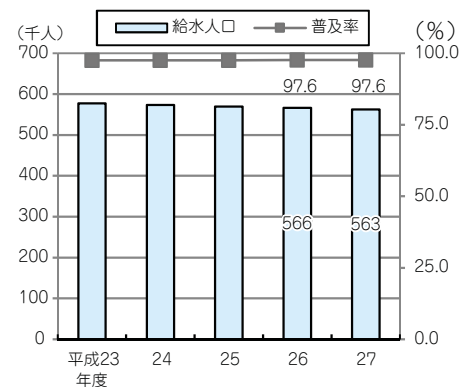
資料 経済産業省資源エネルギー庁「ガス事業年報」

太陽光発電システムの導入状況



資料 資源エネルギー庁 ホームページ

水道普及状況



資料 県水・大気環境課「鳥取県の水道の現況」

(運輸)

平成24年度から28年度までの車種別自動車保有台数の推移を見ると、平成28年度の総数は約46万台で、前年より増加しました。

平成24年から28年までの乗用車新車登録台数の推移を見ると、28年は前年に比べ普通車は増加し、小型車と軽自動車は減少しています。

また、平成24年度から28年度までの輸送人員の推移を見ると、28年度は前年度と比べて鉄道がほぼ横ばい、乗合バス・タクシーは減少しています。

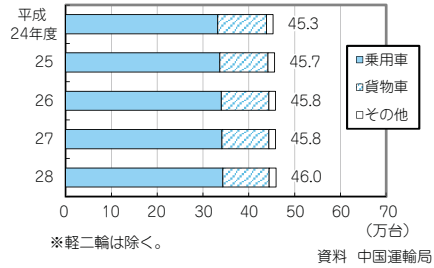
空路では、鳥取空港・米子空港とも「東京便」の搭乗者数は増加傾向にありますが、米子空港では香港便が就航したものの、スカイマーク便の廃止により、搭乗者数の合計が減っています。また、低下傾向にあった米子空港の「ソウル便」の搭乗者数は、平成26年度以降は増加しています。

運輸に関する主な指標

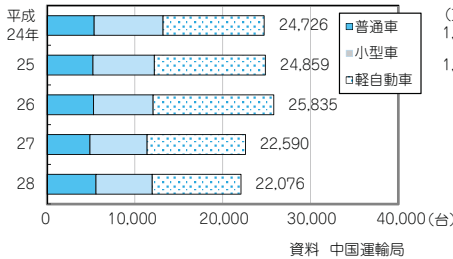
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
ハイヤー・タクシー数(人口千人当たり)	1.25両	35	1.84両	27
営業用バス数(人口千人当たり)	0.96両	19	0.89両	27
トラック数(人口千人当たり)	42.73両	38	47.36両	27

資料 国土交通省「交通関連統計資料集」
総務省「国勢調査」

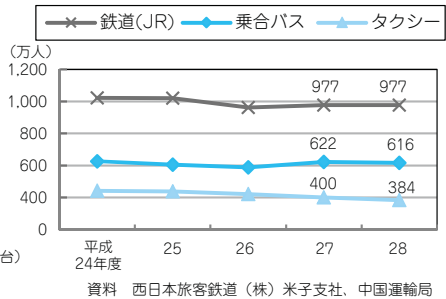
車種別自動車保有台数の推移 (各年度末)



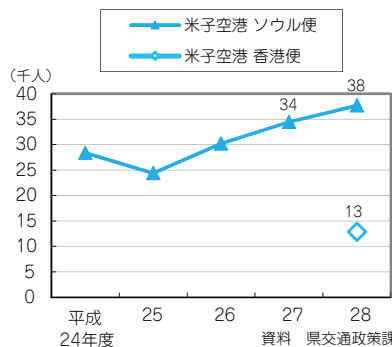
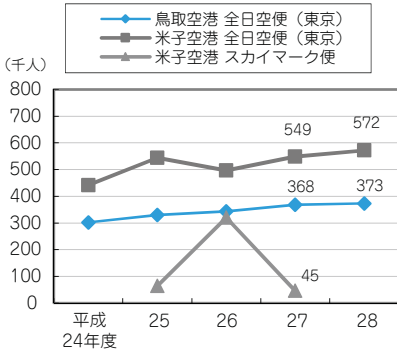
乗用車新車登録台数の推移



輸送人員の推移



国内線 航空便搭乗者数の推移 国際線

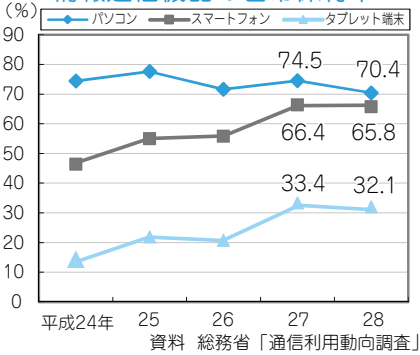


通信に関する主な指標

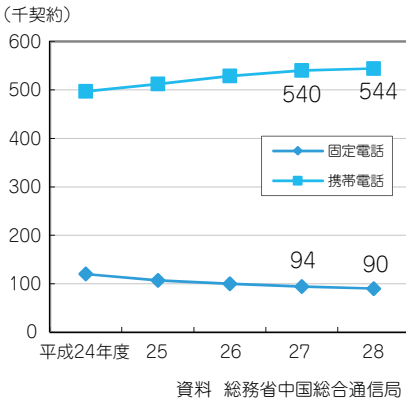
指標名	鳥取県	順位	全国	年度
ブロードバンド契約数世帯比率	248.2%	32	300.4%	27
携帯電話契約率(人口当たり)	95.0%	43	126.3%	27

資料 総務省「情報通信統計データベース」

情報通信機器の世帯保有率



固定・携帯電話契約数の推移

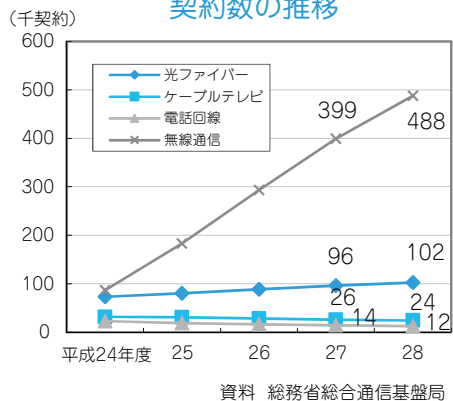


(通 信)

最近の情報通信機器の世帯保有率を見ると、平成27年は全てが増加傾向にあったものの、28年では全てが減少しています。

また、平成24年度から28年度末時点でのブロードバンドサービスの契約数の推移を見ると、光ファイバー（FTTH）と無線通信（BWA+LTE）が増加傾向にある一方、電話回線（DSL）とケーブルテレビ（CATV）が横ばいないし減少傾向にあります。

ブロードバンドサービスの契約数の推移



通信関連の年間消費支出金額 (鳥取市・二人以上の世帯 1世帯当たり)

単位：円

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
固定電話通信料	27,896	27,939	28,782	24,734	25,378
移動電話通信料	95,332	99,569	99,133	121,633	130,160
放送受信料	36,259	33,373	33,225	40,091	36,005
パーソナルコンピュータ	10,850	3,939	18,696	4,911	8,198
インターネット接続料	26,019	20,701	24,174	26,596	26,778

資料 総務省「家計調査」

(教 育)

学校基本調査によると、昭和47年から平成29年までの児童・生徒数の推移を見ると減少傾向が続いています。

平成25年から29年までの高等学校卒業者の進路構成比の推移を見ると、平成28年から進学者の割合が増加傾向にあります。

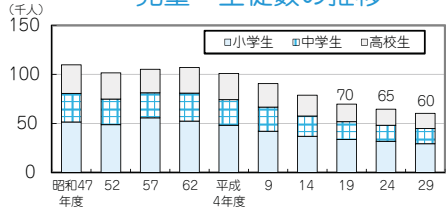
また、学校保健統計調査による平成28年の年齢別身長・体重の平均値を見ると、男女とも12歳頃までは成長曲線がほぼ重なっていますが、年齢が大きくなるにしたがって身長・体重とも男女差が大きくなる傾向にあります。

教育に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年度
*小学校児童数(教員(本務)1人当たり)	11.7人	4	15.4人	29
*中学校生徒数(教員(本務)1人当たり)	10.6人	5	13.3人	29
大学等進学率(男)	36.0%	47	52.1%	29
大学等進学率(女)	48.8%	37	57.3%	29

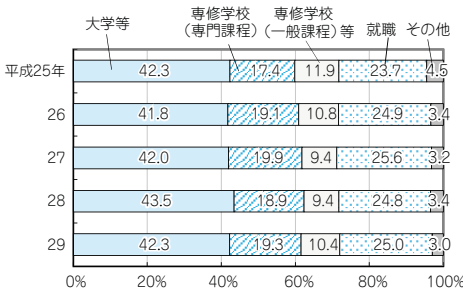
※すべて速報値 資料 文部科学省「平成29年度学校基本調査」

児童・生徒数の推移



※平成29年度は速報値。 資料 文部科学省「学校基本調査」

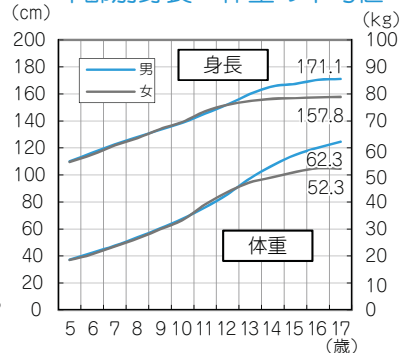
高等学校卒業者の進路構成比の推移



※就職進学者はそれぞれの進学先に計上した。平成29年は速報値。

資料 文部科学省「学校基本調査」

年齢別身長・体重の平均値



資料 文部科学省「平成28年学校保健統計調査」

学校種別学校数・在学者数・教員数(各年5月1日)

単位：校、人

区分	学校数			幼児・児童・生徒数			教員数(本務)		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29
総数	322	321	318	72,104	71,263	70,836	7,266	7,287	7,283
幼稚園	20	20	20	2,210	2,190	2,253	253	240	247
幼児連携型 認定こども園	24	26	26	3,789	4,048	4,065	439	497	507
小学校	135	132	128	30,238	29,791	29,418	2,535	2,529	2,514
中学校	63	63	63	16,107	15,853	15,540	1,494	1,488	1,466
高等学校	32	32	32	15,369	15,461	15,316	1,346	1,335	1,354
特別支援学校	11	11	11	823	804	766	674	678	680
専修学校	24	24	23	1,978	1,958	2,082	197	209	207
各種学校	13	13	15	1,590	1,158	1,396	328	311	308

※平成29年度は速報値。

資料 文部科学省「学校基本調査」

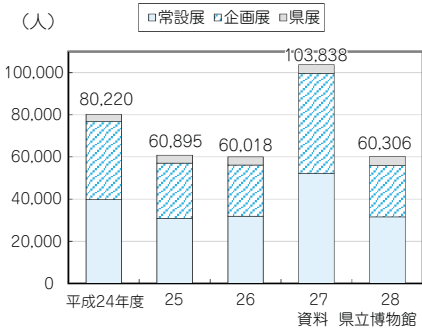
文化

文化に関する主な指標

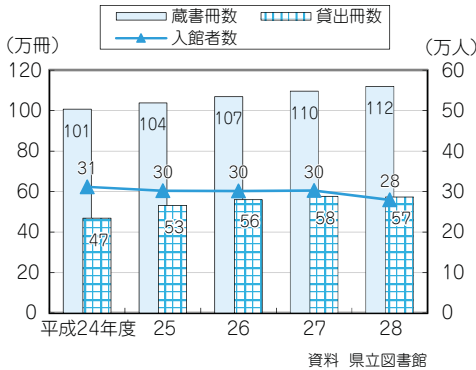
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
図書館数(人口10万人当たり)	5.41館	5	2.62館	27
博物館数(人口10万人当たり)	1.22館	20	0.99館	27
公民館数(人口1万人当たり)	3.19館	6	1.11館	27

資料 総務省「国勢調査」、文部科学省「社会教育調査」

県立博物館入館者数の推移



県立図書館の蔵書、貸出冊数及び入館者数の推移



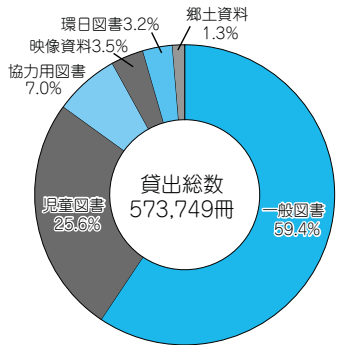
(博物館)

平成24年度から28年度までの県立博物館入館者数の推移を見ると、27年度の入館者数が103,838人で、最も多くなっています。

(図書館)

平成28年度の県立図書館の貸出冊数を見ると、573,749冊となっており、その内訳は、「一般図書」「児童図書」「協力用図書」「(市町村図書館等へ貸出)の順となっています。

県立図書館蔵書の分野別貸出状況



※出前図書館分を含む

指定文化財及び国登録文化財の状況 (平成29年3月末現在)

国指定文化財										県指定文化財																						
国指定文化財										国登録文化財		保護文化財																				
国宝	重要文化財			特別史跡	史跡	名勝	名勝・史跡	特別天然記念物	天然記念物	重要無形文化財	重要有形民俗文化財	重要無形民俗文化財	重要伝統的建造物群保存地区	国登録文化財	絵画	彫刻	古文書	工芸品	考古資料	考古学資料	歴史資料	建造物	彫刻・建造物	史跡	名勝	天然記念物	無形民俗文化財	有形民俗文化財	伝統的建造物群保存地区	合計		
絵画	建造物	彫刻	工芸品	考古資料	歴史資料	建造物	史跡	名勝	名勝・史跡	特別天然記念物	天然記念物	重要無形文化財	重要有形民俗文化財	重要無形民俗文化財	保存地区	絵画	彫刻	古文書	工芸品	考古資料	考古学資料	歴史資料	建造物	彫刻・建造物	史跡	名勝	天然記念物	無形民俗文化財	有形民俗文化財	伝統的建造物群保存地区	合計	
1	1	1	2	18	5	1	10	0	17	1	3	2	4	1	2	17	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	273	595

資料 県教育委員会文化財課

(男女共同参画)

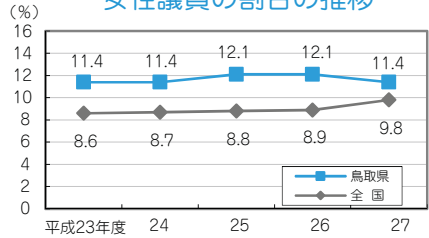
平成23年度から27年度までの都道府県議会及び平成24年度から28年度までの審議会等並びに公務員管理職に占める女性比率を見ると、すべての年度で本県は全国平均を上回っており、平成28年度の公務員管理職については、17.9%で全国で一番高くなっています。

平成29年8月22日現在の鳥取県男女共同参画推進企業の認定状況を見ると、651事業所（廃業等を除く）が認定されています。

男女共同参画に関する主な指標

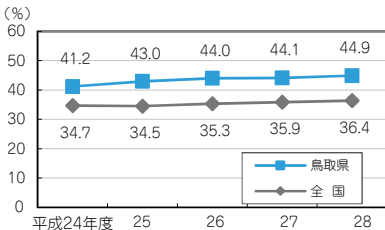
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
都道府県議会の女性議員比率	11.4%	15	9.8%	27
審議会等委員の女性比率	44.9%	2	36.4%	28
都道府県公務員管理職の女性比率	17.9%	1	8.5%	28

都道府県議会における女性議員の割合の推移



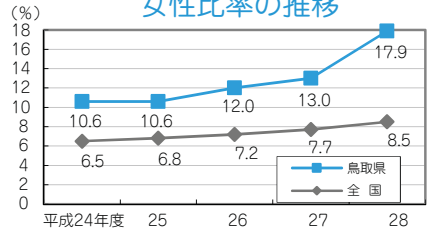
資料 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

審議会等委員の女性比率の推移



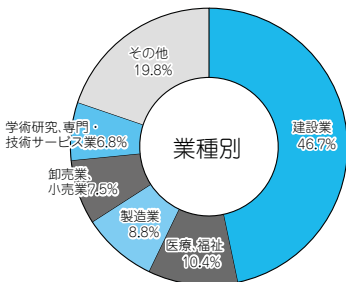
※全国の調査時点は都道府県により異なる。本県は4月1日現在。
資料 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

都道府県公務員管理職の女性比率の推移

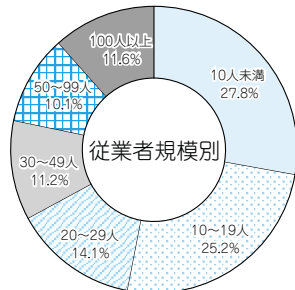


※全国の調査時点は都道府県により異なる。本県は4月1日現在。
資料 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

鳥取県男女共同参画推進企業認定状況（平成29年8月22日現在）

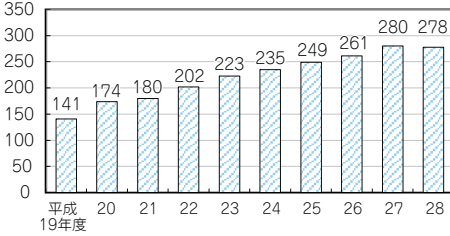


総数
651事業所



資料：県女性活躍推進課

(団体) NPO法人数の推移



※解散したNPO団体等を除く。 資料 県参画協働課

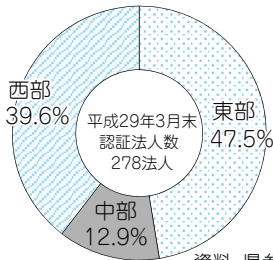
(NPO)

NPO法人数の推移をみると、平成19年度から一貫して増加していましたが、28年度は減少に転じ29年3月末時点で278法人が活動しています。

これを地域別に見ると、東部が約半数を占めており、続いて西部、中部の順となっています。

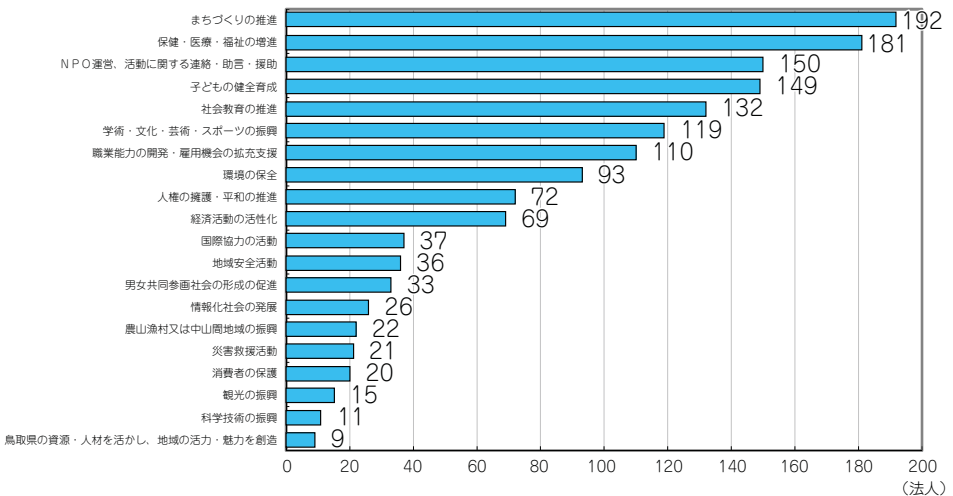
平成28年度末現在のNPO法人の分野別法人数（解散等を除く）を見ると、「まちづくりの推進」を図る活動が192法人で最も多く、次いで「保健・医療・福祉の増進」を図る活動が181法人などとなっています。

NPO法人地域別分布数 (主たる事務所の所在地)



資料 県参画協働課

NPO法人の活動分野別法人数 (平成29年3月末現在) (278法人の累計)



※一つの法人が複数の活動分野の活動を行う場合があるため、認証法人数と活動分野別法人の累計は一致しない。

資料 県参画協働課

(社会保障)

平成23年度から27年度までの生活保護の被保護人員及び生活保護費の推移を見ると、26年度まではいずれも増加傾向にありましたが、27年度では生活保護費が減少しています。

平成23年度から27年度までの国民健康保険被保険者数及び医療給付額の推移を見ると、被保険者数は減少し、給付額は増加しています。

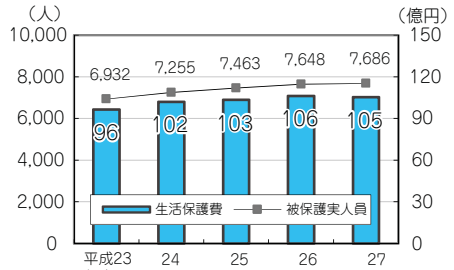
平成23年度から27年度までの国民年金受給権者数、被保険者数及び年金額の推移を見ると、被保険者数は減少傾向ですが、受給権者と受給額は増加傾向にあります。

社会保障に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*保護率(人口千人当たり)	13.40人	25	17.02人	27
老人ホーム定員数 (老年人口千人当たり)	28.0人	9	21.6人	27
居宅サービス従事者数 (老年人口千人当たり)	5.86人	27	6.73人	27

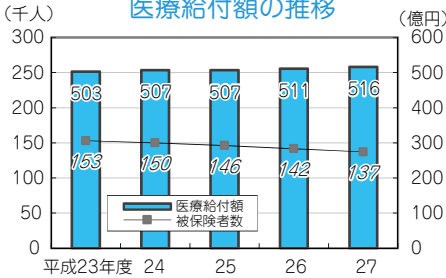
資料 厚生労働省「被保護者調査」「福祉行政報告例」「介護サービス施設・事業所調査」(すべて平成27年)

被保護実人員及び生活保護費の推移



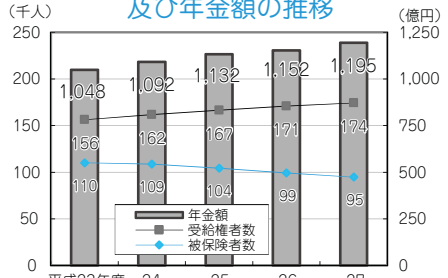
※被保護実人員は1か月平均の人数
資料 厚生労働省「被保護者調査」、県福祉保健課

国民健康保険被保険者数及び医療給付額の推移



資料 厚生労働省「国民健康保険事業年報」

国民年金受給権者数、被保険者数及び年金額の推移



※被保険者数は第2号被保険者分を除く。
資料 厚生労働省「厚生年金・国民年金事業年報」

主な社会福祉施設の状況 (平成28年10月1日現在)

単位:ヶ所、人

施設名	施設数	入所定員	施設名		
			施設数	入所定員	
生活保護			児童自立支援施設	1	36
			児童発達支援センター	6	138
老人福祉			福祉型	4	78
			医療型	2	60
			障害児入所施設	2	85
			福祉型	2	85
			医療型	-	-
			情緒障害児短期治療施設	1	45
障がい者			児童養護施設	5	218
			乳児院	2	35
			母子生活支援施設	5	110
			助産施設	5	69
			保育所	151	14,601
			認定こども園	29	3,159

資料 厚生労働省「平成28年社会福祉施設等調査」、県長寿社会課

健康・医療に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
平均寿命（男）	79.01歳	40	79.59歳	22
平均寿命（女）	86.08歳	36	86.35歳	22
医師数（人口10万人当たり）	289.5人	6	233.6人	26
看護師・准看護師数（人口10万人当たり）	958.9人	12	732.9人	28

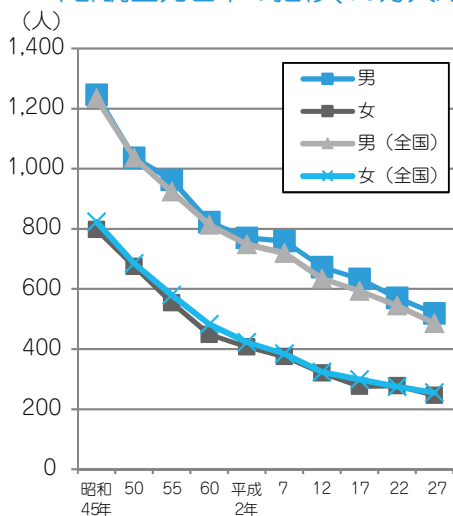
資料 厚生労働省「都道府県別生命表」「医師・歯科医師・薬剤師調査」「病院報告」

（健康・医療）

昭和45年から平成27年までの年齢構成の変化を調整した死亡率は、低下傾向にあります。

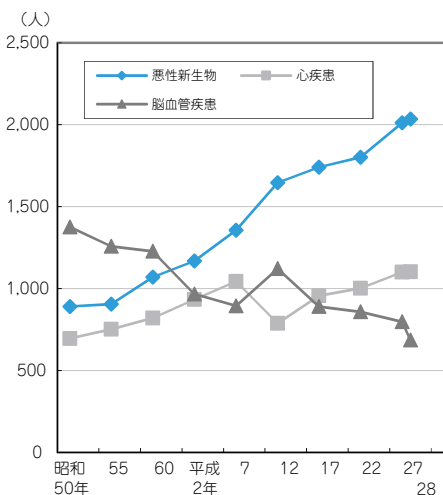
昭和50年から平成28年までの死因別死亡数の推移を見ると、「悪性新生物」が増加傾向にある一方で、「脳血管疾患」が減少傾向にあります。

年齢調整死亡率の推移(10万人対)



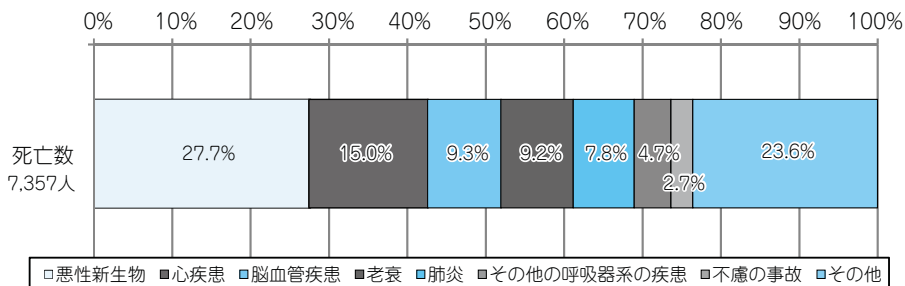
※基準人口は昭和60年人口モデル

三大死因別死亡数の推移



資料 厚生労働省「人口動態調査」

死因別死亡数の割合（平成28年）



資料 厚生労働省「平成28年人口動態調査」

（環境）

平成19年度から28年度までにISO 14001を認証取得した県内の事業所数を見ると、減少傾向を示しています。

また、平成23年度から27年度までの鳥取県の一般廃棄物処理事業におけるリサイクル率は、全国平均より高い水準で推移しています。

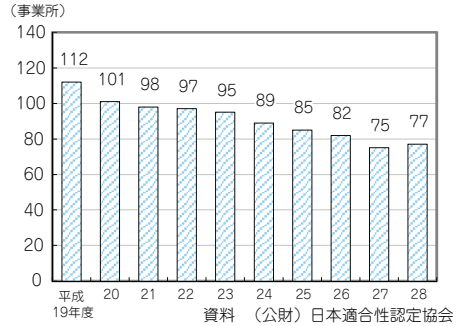
平成23年度から27年度までの水洗化率の推移は、若干の増加傾向となっています。

環境に関する主な指標

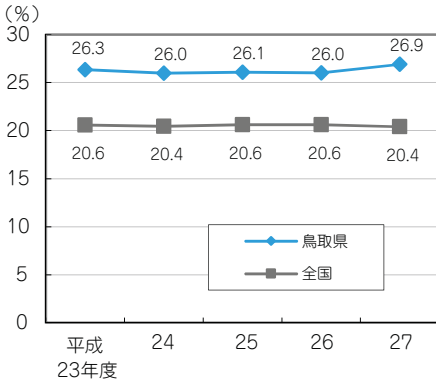
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*ごみ年間総処理量（人口千人当たり）	357.0t	40	325.7t	27
リサイクル率	26.9%	4	20.4%	27
*1人1日当たりのごみ排出量	1,006g	41	939g	27

資料 環境省「平成27年一般廃棄物処理事業実態調査」

ISO 14001認証取得事業所数の推移
（（公財）日本適合性認定協会による認証分）

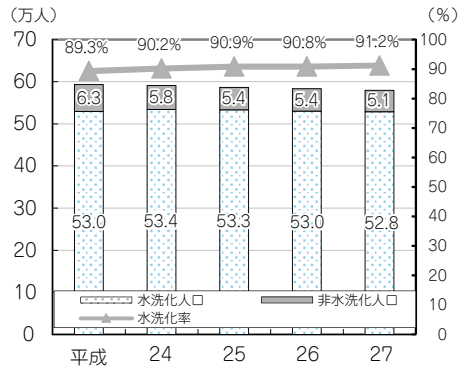


リサイクル率の推移



資料 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

水洗化人口及び水洗化率の推移



資料 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

一般廃棄物総排出量及びし尿収集量

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ごみ総排出量 (t)	219,363	217,879	216,607	213,522	213,306
計画収集量 (t)	194,755	193,582	194,539	190,782	190,724
直接搬入量 (t)	17,173	17,253	15,288	16,336	16,377
集団回収量 (t)	7,435	7,044	6,780	6,404	6,205
1人1日当たりの排出量 (g/人日)	1,011	1,009	1,011	1,002	1,006
し尿収集量 (kℓ)	221,341	108,839	124,200	120,263	119,258

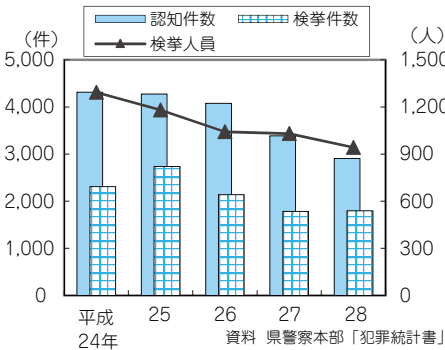
資料 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

犯罪・火災に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*刑法犯認知件数 (人口1万人当たり)	51.0件	18	78.5件	28
刑法犯検挙率	61.8%	3	33.8%	28
*出火件数 (人口1万人当たり)	3.54件	15	3.08件	27

資料 警察庁「警察白書」、総務省「消防白書」、「人口推計」
(すべて平成28年)

刑法犯認知・検挙件数及び
検挙人員の推移



(犯罪)

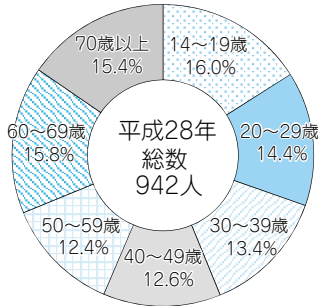
平成24年から28年までの刑法犯認知件数は減少傾向で、平成28年は2,907件でした。

平成28年の犯行時の年齢階級別刑法犯検挙人員の割合を見ると、「14～19歳」の占める割合が最も高く、次いで「60～69歳」となっています。

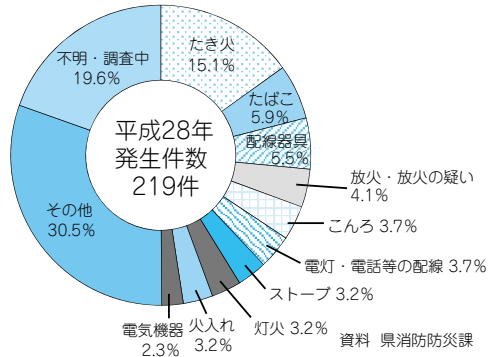
(火災)

平成28年の火災発生件数は219件で、前年に比べて16件増加しました。原因別火災発生件数の割合を見ると、「たき火」が最も高く、次いで「たばこ」「配線器具」の順となっています。

犯行時の年齢階級別刑法犯
検挙人員の割合



原因別火災発生件数の割合



刑法犯 罪種別認知件数の推移

単位：件

年次	認知総数	窃盗犯	知能犯	粗暴犯	風俗犯	凶悪犯	その他
平成24年	4,313	3,292	176	178	39	18	610
25	4,279	3,215	167	160	42	18	677
26	4,077	3,141	138	121	32	16	629
27	3,388	2,631	110	122	34	23	468
28	2,907	2,275	122	115	32	8	355

資料 県警察本部「犯罪統計書」

（交通事故）

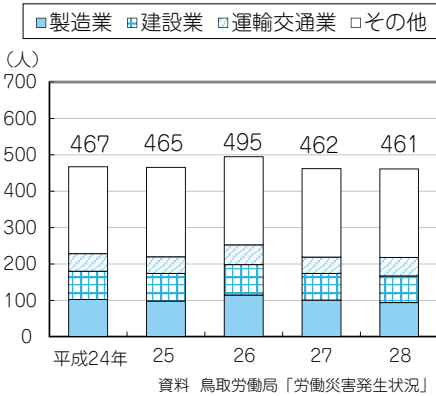
平成24年から28年までの交通事故の発生件数と死傷者数の推移を見ると、いずれも年々減少しています。

平成28年の交通事故の状態別死傷者の割合を見ると、「自動車運転中」「自動車同乗中」「歩行者」などの順となっています。

（労働災害）

平成24年から28年までの労働災害死傷者数の推移を見ると、26年に増加したものの、27年以降は減少しています。

労働災害死傷者数の推移

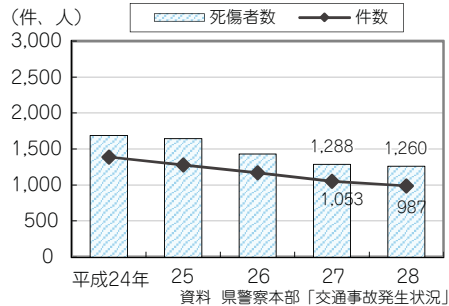


交通に関する主な指標

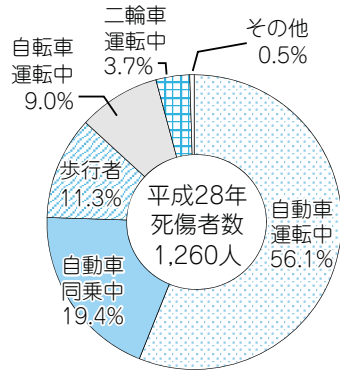
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
※交通事故発生件数 (人口1万人当たり)	17.3件	4	39.3件	28
※交通事故死傷者数 (人口1万人当たり)	22.1人	4	49.1人	28
※道路交通法違反取締件数 (人口1万人当たり)	54.0件	29	53.1件	28

資料 警察庁「交通事故発生状況」、総務省「人口推計年報」
警察庁ホームページ「平成28年の犯罪」

交通事故の発生件数と死傷者数の推移



交通事故の状態別死傷者の割合



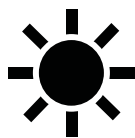
交通事故の年齢別死傷者数

単位：人

年次	総数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他の少年	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成24年	1,688	23	39	19	50	40	296	328	275	222	201	195
25	1,644	29	51	25	42	42	227	315	266	235	211	201
26	1,430	23	53	12	36	45	226	256	232	170	208	169
27	1,288	19	30	15	53	20	214	218	214	185	162	158
28	1,260	17	43	21	28	27	202	229	243	137	156	157

資料 県警察本部「交通事故発生状況」

鳥取県の1日



平均気温（鳥取市）
（2016年） 16.0℃
降水量（鳥取市）
（2016年） 4.9mm



出生数（2016年） 12.2人
死亡数（2016年） 20.2人
転入数（2016年） 27.9人
転出数（2016年） 30.9人



婚姻件数（2016年） 6.7件
離婚件数（2016年） 2.6件



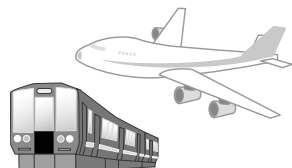
電力消費量
（2015年度） 588万kwh
電灯消費量
（2015年度） 371万kwh
上水道供給量
（2015年度） 16.5万㎡



清酒消費量（ℓ）
（2015年度） 8,842 ℓ
ビール消費量（ℓ）
（2015年度） 29,675 ℓ



ごみ排出量
（2015年度） 582.8 t
し尿処理量
（2015年度） 325.8 k ℓ



JR乗車人員
（2016年度） 26,775人
飛行機利用客
（2016年度） 2,727人



県立図書館貸出図書数
（2016年度） 1,572冊



1世帯当たり消費支出 8,270円
（2016年）



火災発生件数
（2016年） 0.60件
火災損害額
（2016年） 962千円
救急自動車出動件数
（2015年） 67.6件
交通事故件数
（2016年） 2.7件



交通事故死亡者数
（2016年） 0.05人
道路交通法違反取締件数
（2016年） 82.7件
刑法犯認知件数
（2016年） 7.9件

食料費 2,399円
交通・通信費 1,168円
教養娯楽費 824円
光熱・水道費 650円
住居費 398円
被服及び履物費 334円
保健医療費 330円
家具・家事用品費 320円
教育費 267円

※鳥取市の二人以上世帯における結果。



自然環境

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
総面積	3,507km ²	41	377,971km ²	27	年平均気温	16.0℃	27	…	28
可住地面積割合	25.7%	36	32.9%	27	降水量（年間）	1,795mm	21	…	28

人口・世帯

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
総人口	57万人	47	12,693万人	28	一般世帯数	22万世帯	47	5,333万世帯	27
男子人口	27万人	47	6,177万人	28	核家族世帯の割合	53.11%	38	55.79%	27
女子人口	30万人	47	6,517万人	28	高齢夫婦のみの世帯割合	11.21%	34	11.40%	27
外国人人口 (人口10万人当たり)	590.1人	31	1,378.8人	27	高齢単身世帯の割合	11.12%	24	11.11%	27

経済基盤

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
従業者1～4人の 事業所割合	59.85%	26	58.20%	26	土地生産性（耕地面積1ha当たり）	187.6万円	30	186.5万円	26
従業者100人以上の 事業所割合	0.73%	42	1.11%	26	国内銀行預金残高 (人口1人当たり)	392.9万円	21	552.0万円	27
耕地面積比率	9.9%	25	12.1%	27	郵便貯金残高（人口1人当たり）	117.6万円	38	128.9万円	27

行政基盤

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
財政力指数	0.243	45	0.473	26	一般財源の割合	60.2%	12	58.3%	26
実質収支比率	3.9%	4	1.5%	26	地方交付税割合	38.75%	2	17.18%	26
経常収支比率	89.3%	45	93.5%	26	住民税（人口1人当たり）	82.2千円	39	123.8千円	26
自主財源の割合	31.9%	44	55.1%	26	固定資産税（人口1人当たり）	55.3千円	37	69.0千円	26

教育

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
保育所数（0～5歳 人口10万人当たり）	629.1所	4	361.8所	26	不登校による小学校 長期欠席児童比率 (児童千人当たり)	4.52人	16	3.92人	26
幼稚園数（3～5歳 人口10万人当たり）	140.6園	47	376.9園	27	不登校による中学校 長期欠席生徒比率 (生徒千人当たり)	26.50人	24	27.62人	26
小学校数（6～11歳 人口10万人当たり）	451.6校	16	321.1校	27	出身高校所在地県の 大学への入学者割合	14.9%	43	…	27
中学校数（12～14歳 人口10万人当たり）	390.5校	16	304.8校	27	大学収容力指数	92.8	20	118.9	27

労働

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
完全失業率	3.9%	34	4.2%	27	転職率	4.8%	19	5.0%	24
雇用者比率	82.1%	29	84.0%	27	離職率	5.0%	25	5.0%	24

安全

指標名	鳥取県	順位	全国	年次	指標名	鳥取県	順位	全国	年次
消防吏員数 (人口10万人当たり)	138.5人	14	126.4人	27	交通事故発生件数 (人口10万人当たり)	173.2件	44	393.3件	28
警察官数 (人口千人当たり)	2.14人	10	2.03人	27	道路交通法違反取締件数 (人口千人当たり)	54.0件	19	53.1件	28

資料 総務省「統計でみる都道府県のすがた」、「国勢調査」 気象庁「気象統計情報」 県統計課「100の指標からみた鳥取県」

市町村勢一覽

市町村	面積 (28.10.1) k㎡	国勢調査 (27.10.1)				県推計人口(28.10.1)			
		世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女
		世帯	人	人	人	世帯	人	人	人
県計	3,507.13	216,894	573,441	273,705	299,736	217,890	569,579	271,898	297,681
鳥取市	765.31	75,941	193,717	94,151	99,566	76,295	192,658	93,646	99,012
米子市	132.42	60,037	149,313	70,628	78,685	60,567	149,178	70,609	78,569
倉吉市	272.06	18,548	49,044	23,106	25,938	18,599	48,558	22,882	25,676
境港市	29.10	13,094	34,174	16,294	17,880	13,095	33,809	16,114	17,695
岩美郡									
岩美町	122.32	3,993	11,485	5,437	6,048	4,013	11,343	5,362	5,981
八頭郡									
若桜町	199.18	1,271	3,269	1,550	1,719	1,273	3,209	1,512	1,697
智頭町	224.70	2,487	7,154	3,370	3,784	2,485	7,031	3,295	3,736
八頭町	206.71	5,359	16,985	8,100	8,885	5,386	16,687	7,955	8,732
東伯郡									
三朝町	233.52	2,290	6,490	3,061	3,429	2,270	6,393	3,014	3,379
湯梨浜町	77.94	5,482	16,550	7,910	8,640	5,469	16,347	7,812	8,535
琴浦町	139.97	5,795	17,416	8,178	9,238	5,841	17,187	8,090	9,097
北栄町	56.94	4,813	14,820	7,038	7,782	4,825	14,718	6,990	7,728
西伯郡									
日吉津村	4.20	1,144	3,439	1,583	1,856	1,189	3,459	1,591	1,868
大山町	189.83	5,300	16,470	7,814	8,656	5,286	16,308	7,728	8,580
南部町	114.03	3,514	10,950	5,162	5,788	3,521	10,874	5,131	5,743
伯耆町	139.44	3,604	11,118	5,226	5,892	3,618	11,045	5,195	5,850
日野郡									
日南町	340.96	1,933	4,765	2,205	2,560	1,895	4,637	2,162	2,475
日野町	133.98	1,279	3,278	1,490	1,788	1,264	3,188	1,443	1,745
江府町	124.52	1,010	3,004	1,402	1,602	999	2,950	1,367	1,583
資料出所	国土交通省 国土地理院	総務省				県統計課			

産業別15歳以上就業者数(27年国勢調査)				自然動態(28.1.1～28.12.31)			社会動態(28.1.1～28.12.31)		
総数※1	第1次産業	第2次産業	第3次産業	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
280,925	24,671	59,764	187,826	4,459	7,375	△ 2,916	16,593	17,684	△ 1,091
93,021	5,219	19,037	64,810	1,579	2,178	△ 599	4,899	5,307	△ 408
71,479	2,451	14,219	51,799	1,380	1,649	△ 269	5,007	5,034	△ 27
23,953	2,393	5,310	15,876	366	673	△ 307	1,276	1,522	△ 246
16,507	667	4,186	11,289	245	445	△ 200	1,199	1,440	△ 241
5,469	661	1,435	3,354	67	182	△ 115	304	317	△ 13
1,528	198	433	886	10	80	△ 70	101	99	2
3,383	395	1,118	1,863	32	138	△ 106	190	212	△ 22
8,934	1,513	2,108	5,140	97	270	△ 173	378	450	△ 72
3,277	523	613	2,140	48	107	△ 59	192	227	△ 35
8,555	1,258	1,786	5,491	117	225	△ 108	527	589	△ 62
9,114	1,943	2,175	4,818	114	272	△ 158	480	489	△ 9
8,004	1,795	1,664	4,390	97	213	△ 116	452	466	△ 14
1,793	142	389	1,232	40	45	△ 5	181	157	24
8,821	2,252	1,688	4,753	102	297	△ 195	444	450	△ 6
5,563	715	1,382	3,358	55	154	△ 99	319	283	36
5,825	952	1,159	3,615	64	167	△ 103	344	346	△ 2
2,425	809	417	1,194	19	137	△ 118	124	126	△ 2
1,610	312	322	950	15	76	△ 61	102	107	△ 5
1,664	473	323	868	12	67	△ 55	74	63	11
総務省				県統計課					

※1 総数には分類不能の産業を含む

市町村勢一覽

市町村	販売農家数 (27.2.1)		自給的 農家数 (27.2.1)	販売農家 における 農家人口 (27.2.1)	耕地面積(28.7.15)			米(水稲・28年)		林野面積 (27.2.1)
	総数	うち専業			計	田	畑	作付面積	収穫量	
	戸	戸	戸	人	ha	ha	ha	ha	t	ha
県計	17,846	4,656	9,867	68,377	34,700	23,600	11,100	12,700	66,300	258,782
鳥取市	4,214	972	2,565	16,337	7,010	5,480	1,530	3,200	16,400	54,561
米子市	1,818	474	1,147	7,116	2,990	1,940	1,050	983	5,380	2,471
倉吉市	1,602	412	973	5,992	3,890	2,640	1,240	1,460	7,270	18,472
境港市	91	46	219	295	382	64	318	17	80	46
岩美郡										
岩美町	437	102	297	1,597	877	781	96	469	2,420	9,929
八頭郡										
若桜町	185	72	161	585	339	245	94	138	671	18,542
智頭町	415	117	433	1,594	545	493	52	241	1,200	20,832
八頭町	1,116	279	669	4,358	1,800	1,380	412	887	4,540	16,525
東伯郡										
三朝町	411	90	274	1,542	806	589	217	302	1,400	20,662
湯梨浜町	730	198	471	2,875	1,310	725	583	409	2,090	3,949
琴浦町	1,105	309	440	4,364	2,860	1,540	1,320	671	3,540	8,743
北栄町	882	322	404	3,471	2,180	888	1,300	559	3,000	1,435
西伯郡										
日吉津村	117	21	66	544	140	102	38	53	291	11
大山町	1,685	440	601	6,452	3,990	2,210	1,780	952	5,200	12,047
南部町	788	162	315	3,160	1,220	988	232	519	2,850	8,535
伯耆町	903	209	325	3,529	1,660	1,210	449	642	3,560	9,550
日野郡										
日南町	676	238	189	2,142	1,510	1,370	141	755	3,860	30,430
日野町	255	82	176	879	408	363	45	180	909	11,925
江府町	416	111	142	1,545	755	553	202	299	1,590	10,109
資料出所	農林水産省									

労働力状態 (27年国勢調査)		事業所(28.6.1) ※1		工業(28.6.1) ※2			商業(26.7.1) ※3		
労働力人口	労働力率	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	事業所数	従業者数	年間商品 販売額
人	%	所	人	所	人	百万円	所	人	百万円
292,349	60.5	25,809	231,711	891	31,319	704,352	5,622	38,147	1,162,837
97,149	60.5	9,047	84,096	291	10,993	246,504	1,799	13,073	403,150
74,328	61.0	6,978	68,867	185	6,264	150,776	1,482	11,812	421,715
25,034	59.4	2,895	23,191	93	3,256	90,484	637	3,757	96,196
17,192	59.1	1,473	14,389	85	3,194	81,089	408	2,822	95,731
5,766	57.0	391	2,908	22	853	13,292	83	390	6,842
1,601	52.6	157	850	13	217	2,927	41	141	1,314
3,522	54.6	304	2,043	25	572	6,538	70	299	3,771
9,261	62.4	520	3,346	20	403	4,283	124	511	7,624
3,381	59.1	231	2,175	8	210	2,053	43	218	5,022
8,882	62.8	560	3,966	20	497	5,855	134	610	15,576
9,407	62.4	724	6,057	30	1,683	38,924	190	1,122	23,631
8,308	64.5	581	4,029	29	561	6,437	141	691	19,666
1,843	64.4	283	2,386	3	126	2,041	83	772	17,509
9,068	62.3	529	4,315	23	970	27,256	124	614	19,179
5,759	60.5	255	2,843	13	957	17,994	49	270	4,864
6,024	61.5	321	2,815	12	195	2,328	72	525	11,118
2,474	56.1	260	1,466	6	117	1,459	62	193	3,564
1,654	54.8	183	1,001	5	53	289	56	240	4,728
1,696	61.6	117	968	8	198	3,823	24	87	1,635
総務省				県統計課			経済産業省		

※1 民間事業所数（事業内容等不詳事業所を除く）。速報値。

※2 従業者4人以上の事業所。

※3 民間事業所数（事業内容等不詳事業所を除く）。

市町村勢一覽

市町村	市町村財政(普通会計・27年度)			財政力 指 数 (25~27年 3年平均)	公道(27.4.1) ^{※1}			自動車 ^{※2} 保有台数 (29.3.31)	水道 (28.3.31)	
	歳入決算額	(うち) 市町村税	歳出決算額		実延長	改良率	舗装率		給水人口	普及率
	千円	千円	千円		m	%	%	台	人	%
県 計	315,402,572	65,220,981	306,965,815	0.33	8,819,710	72.3	92.2	459,596	562,524	97.6
鳥取市	95,800,052	22,942,104	93,871,524	0.51	2,198,453	72.7	90.9	147,651	188,953	98.8
米子市	65,349,234	18,307,932	64,516,626	0.66	1,119,190	75.1	94.8	115,850	148,336	99.6
倉吉市	30,716,306	5,557,723	29,872,345	0.43	877,072	70.8	90.3	40,439	46,915	96.4
境港市	16,765,046	3,745,530	16,394,840	0.52	348,248	54.4	87.2	27,515	34,116	97.6
岩美郡										
岩美町	6,927,454	975,739	6,828,265	0.27	273,678	55.7	87.8	9,290	11,758	99.2
八頭郡										
若桜町	3,691,606	238,295	3,404,619	0.13	119,443	75.2	82.7	2,700	3,191	91.6
智頭町	6,350,195	721,632	6,090,871	0.20	179,152	71.8	93.9	6,067	5,308	71.0
八頭町	11,043,153	1,292,353	10,457,567	0.23	365,546	67.3	96.0	14,682	17,556	98.5
東伯郡										
三朝町	5,843,181	660,711	5,751,848	0.23	245,200	70.5	91.0	5,277	6,264	92.4
湯梨浜町	9,688,989	1,412,344	9,344,384	0.27	282,463	78.9	96.8	12,969	17,029	99.3
琴浦町	11,085,770	1,721,391	10,841,713	0.33	450,595	68.1	91.8	15,321	17,698	98.0
北栄町	8,625,631	1,327,181	8,284,383	0.31	407,001	78.2	96.2	14,185	15,398	99.4
西伯郡										
日吉津村	2,294,270	984,583	2,206,684	0.75	33,821	100.0	99.9	2,993	3,461	99.6
大山町	11,432,834	1,502,071	10,675,517	0.26	549,157	77.3	96.1	15,275	15,788	93.5
南部町	7,212,332	941,636	6,990,877	0.27	298,838	74.9	96.8	9,213	11,022	98.3
伯耆町	7,447,143	1,333,435	7,195,778	0.32	340,499	72.7	92.4	9,588	10,607	93.4
日野郡										
日南町	7,992,135	439,059	7,488,058	0.14	387,424	77.8	90.3	4,824	3,606	71.9
日野町	3,522,666	361,515	3,362,120	0.18	197,456	73.7	83.5	2,905	2,623	77.7
江府町	3,614,575	755,747	3,387,796	0.34	146,474	77.0	92.7	2,852	2,895	92.5
資料出所	県地域振興課			県道路企画課			中国運輸局 鳥取運輸支局	厚生労働省		

※1 一般国道、県道、市町村道の合計

※2 軽二輪を除く。

選挙人名簿登録者数(29.9.1)			在外選挙人名簿登録者数(29.9.1)			児童・生徒数(29.5.1)*1		国民健康保険(27年度) ^{※2}		交通事故(28年)	
総数	男	女	総数	男	女	小学校	中学校	年度末被保険者数	保険給付費	発生件数	死傷者数
人	人	人	人	人	人	人	人	人	千円	件	人
479,510	226,763	252,747	279	91	188	29,418	15,540	133,522	43,486,641	987	1,260
158,236	75,352	82,884	86	25	61	10,258	5,365	41,692	12,872,287	341	428
123,263	57,948	65,315	58	16	42	8,002	4,310	32,981	10,625,947	300	383
40,392	18,795	21,597	21	9	12	2,476	1,194	12,187	4,001,333	95	122
29,026	13,902	15,124	7	1	6	1,674	868	7,657	3,099,171	40	49
10,179	4,784	5,395	3	1	2	506	318	3,141	998,612	10	13
3,062	1,437	1,625	2	1	1	89	55	861	318,275	2	2
6,417	3,002	3,415	7	-	7	284	140	1,951	645,397	7	9
14,985	7,172	7,813	13	6	7	832	470	4,133	1,291,668	18	22
5,685	2,662	3,023	9	5	4	333	170	1,562	542,113	6	6
14,149	6,711	7,438	12	6	6	947	533	4,119	1,359,219	35	43
15,096	7,099	7,997	20	8	12	887	456	4,807	1,652,066	28	39
12,811	6,082	6,729	6	2	4	778	418	4,513	1,357,625	33	47
2,884	1,346	1,538	-	-	-	191	-	792	276,695	6	8
14,313	6,852	7,461	5	-	5	735	424	4,842	1,581,506	27	43
9,419	4,432	4,987	8	4	4	563	307	2,700	953,259	8	8
9,518	4,508	5,010	11	2	9	554	287	2,904	898,204	20	24
4,365	2,030	2,335	7	4	3	139	78	1,250	455,098	7	8
2,969	1,384	1,585	2	-	2	87	77	806	289,783	1	1
2,741	1,265	1,476	2	1	1	83	70	624	268,383	3	5
県選挙管理委員会						県統計課		県地域振興課		県警察本部	

※1 学校の所在する市町村ごとに集計。速報値。

※2 市町村国民健康保険事業会計の合計。

国立・国定・県立自然公園、世界ジオパーク

名称	概 説	面積 (ha)	主な指定年月日
大山隠岐 国立公園	中国一の名峰大山（標高1,729m）を中心とし、三徳山・岡山県蒜山高原・島根県隠岐・島根半島・三瓶山を包み取る。春は新緑、夏は登山・キャンプ、秋は紅葉、冬は西日本随一のスキー場、史跡にも富み、四季折々の魅力をもっている。志賀直哉の名作「暗夜行路」に大山の情景がよく描き出されている。	35,353 〔鳥取県は 15,783〕	昭和11.2.1 〔昭和38.4.10〕 〔拡大指定〕 〔平成14.3.26〕 〔拡大指定〕 〔平成26.3.19〕 〔拡大指定〕
山陰海岸 国立公園	鳥取砂丘から京都府京丹後市に至る1府2県にまたがる海岸の自然公園で、このうち鳥取県内の中心地は鳥取砂丘と浦富海岸である。鳥取砂丘は、南北2km、東西16kmにわたる海岸砂丘で、起伏の大きさ、風紋、砂簾、スリパチなどの砂丘地形は全国一の規模であり、風が描く砂上の風紋と夕陽に映える砂丘の表情が美しい。浦富海岸は「山陰の松島」といわれ、洞門・洞くつ・奇岩・奇勝など海岸美の粹を集め、鳥取砂丘とともに国より天然記念物の指定を受けている。	8,783 〔鳥取県は 1,516〕	昭和38.7.15 〔平成18.12.26〕 見直し指定
比婆道後帝釈 国定公園	鳥取・島根・広島の3県にまたがる中国山地の中心地で、鳥取県関係は、つづじの名所道後山、神話「八岐のおろち」で有名な神剣出現の伝説のある船通山がある。これらの山々は大幅ゆるやかな高原状をなしており、豊富な渓谷美を有している。	8,416 〔鳥取県は 1,437〕	昭和38.7.24 〔平成15.3.25〕 〔拡大指定〕
水ノ山後山 那岐山 国定公園	鳥取・兵庫・岡山の3県にまたがる山岳地帯で、中国山地第2の高峰水ノ山を中心とし、北は扇ノ山、南は那岐山、西は三国山に至る延長約95km、総面積4万haを超える地域で、千m級の山なみがうちつづき、「高原と瀑布と渓谷」に代表される山岳美の景観に恵まれた公園である。 本県関係では、山岳スキーで知られる水ノ山・ドウダンツツジが自生する那岐山、扇ノ山山麓の河合谷高原の展望、雨滝の瀑布群、約8kmにわたる芦津溪の紅葉などが有名である。	48,803 〔鳥取県は 8,579〕	昭和44.4.10 〔昭和58.2.9〕 〔拡大指定〕
三朝東郷湖 県立自然公園	鳥取県最初の県立自然公園で倉吉市・三朝町・湯浜浜町にまたがる温泉・山岳・湖水・海岸を含む多面的な自然公園である。区域内には景勝地としての小鹿渓、東郷湖、史跡名勝地としての三徳山があり、ラジウム含有量世界有数の三朝温泉、風光明媚な東郷湖をはさんで東郷温泉、はわい温泉があり、鳥取県名産二十世紀梨もこの地方から多く生産される。	14,768	昭和29.4.2 〔昭和39.6.1〕 〔拡大指定〕 〔昭和58.5.27〕 見直し指定 〔平成6.12.1〕 〔見直し指定〕 〔平成26.3.19〕 見直し指定
奥日野 県立自然公園	鳥取県の南西部、日野、日南両町にわたる山岳と渓谷の自然公園で、なかでも滝山・鶴ノ池・石霞溪付近の紅葉と渓谷美、花見山のスキー等は近年道路の整備により脚光を浴び、また、菅沢ダムにより生じた日南湖も新しい観光地となった。	4,823	昭和39.6.1 〔平成6.12.1〕 〔拡大指定〕
西因幡 県立自然公園	鳥取市西部にまたがる水尻海岸から浜村海岸・長尾岬を経て長瀬まで16kmにわたる海岸一帯は、砂浜からなる砂丘帯と、岩盤からなる急斜崖の半島や岬が交互に発達し、優れた景観を示している。これらの海岸に加え、浜村温泉並びに水鳥の渡来する水尻池を包み取る地域、鷲峰山、八葉寺川渓谷等の景勝地もある。	2,155	昭和59.5.8 〔昭和62.4.28〕 〔拡大指定〕
山陰海岸 ジオパーク	山陰海岸国立公園を中心に、京都府京丹後市の経ヶ岬から鳥取県鳥取市青谷町までの東西約120km、南北最大30km、1府2県にまたがる広大なエリアをもつ。ここでは、約2,500万年前にさかのぼる日本海形成に関わる岩石や地層、日本海の海面変動によって形成されたりアス式海岸や砂丘をはじめとする多彩な海岸地形など、貴重な地質遺産を数多く観察することができる。 鳥取県の見所には、鳥取砂丘、浦富海岸をはじめ湖山池や白兔海岸、扇ノ山山麓などがある。	245,844 〔鳥取県は 64,880〕	日本ジオパーク認定 〔平成20.12.8〕 世界ジオパーク ネットワーク加盟認定 〔平成22.10.4〕 同拡大再認定 〔平成26.9.23〕

鳥取県勢要覧(平成29年版)

編集・発行／鳥取県地域振興部統計課
鳥取市東町一丁目220番地
☎ (0857) 26-7588

この冊子は、480部作成し、1部当たり220円です。

